

2025年大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン みんなトイレ アンケート調査



施主：公益社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン
竣工年月：2024年10月
会期：2025年4月13日～10月13日

大阪ヘルスケアパビリオン「みんなトイレ」の特徴

1. 当事者と作り手が「お困りごと」に寄り添って、一緒に考えて実現

既成概念を変えるチャレンジとして「誰もが使いやすい、ミライのトイレ」を目指し、車いす使用者やさまざまな障がいのある方、性的マイノリティ、子育て世帯など、**従来のトイレに不便を感じていた「お困りごと当事者」が中心**となり、学識経験者やTOTOなどの作り手企業も参加して「UD推進チーム」を結成。ニーズ・課題の共有、レイアウト検討から原寸大での動線確認まで、丁寧な意見交換を重ねて、実現しました。

2. 選択肢があり、多様なニーズを充足

入口は一つ、空間も一つの共用トイレとしました。共用ブースは3種類の大きさを用意し、共用小ブースを4か所、共用中ブースを2か所、共用大ブースを2か所設置。女性ブース2か所と男性用小便器2か所は選択できる機能の一つとして設置しました。



概要 | 大阪ヘルスケアパビリオン「みんなトイレ」アンケート調査

調査主催	TOTO（大阪ヘルスケアパビリオン「UD推進チーム」※ 作り手企業）
調査対象者	2025大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン「みんなトイレ」利用者
調査方法	調査員がトイレ前に待機し、トイレを利用して出てこられた利用者インタビュー形式で調査
調査期間	2025年8月23日(土)・24日(日)・25日(月)・28日(木)・29日(金) 計5日間
回収数	400件



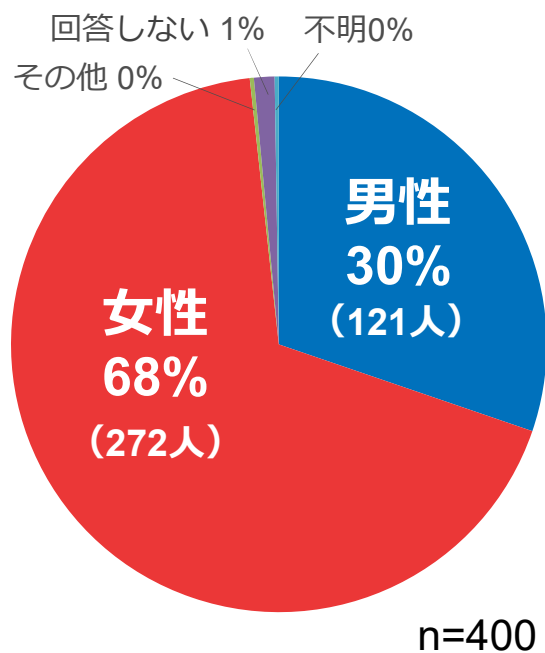
調査イメージ

※大阪ヘルスケアパビリオン「UD推進チーム」

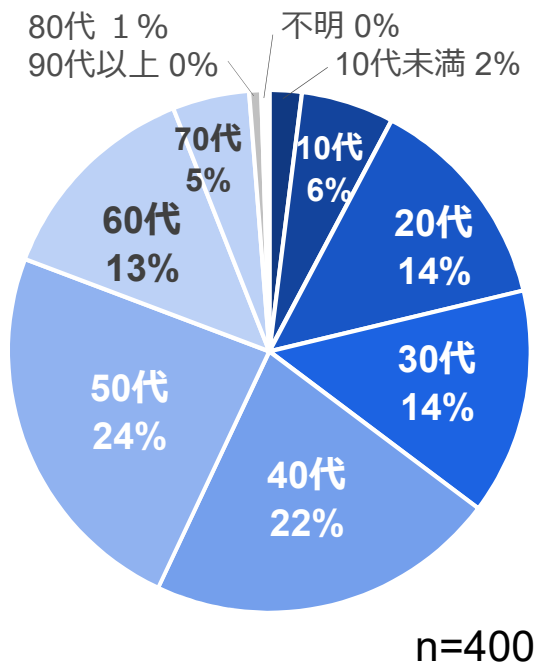
車いす使用者やさまざまな障がいのある方、性的マイノリティ、子育て世帯など、従来のトイレに不便を感じていた「お困りごと当事者」が中心となり、学識経験者やTOTOなどの作り手企業も参加して結成したチーム。

女性272人・男性121人

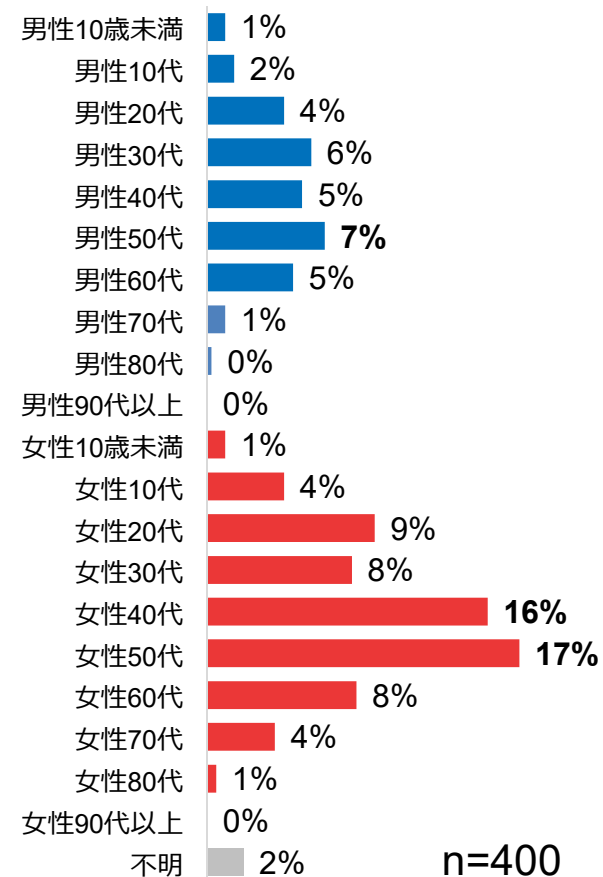
性別



年代



性別×年代

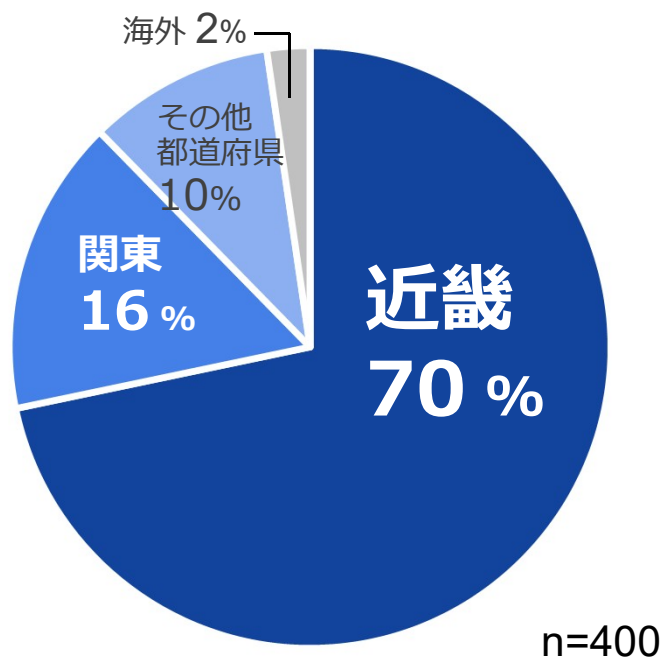


※小数点以下は四捨五入
構成比は合計しても必ずしも100にならない

回答者属性

回答者の約半数が大阪府在住
障がいがない方が約9割

居住地

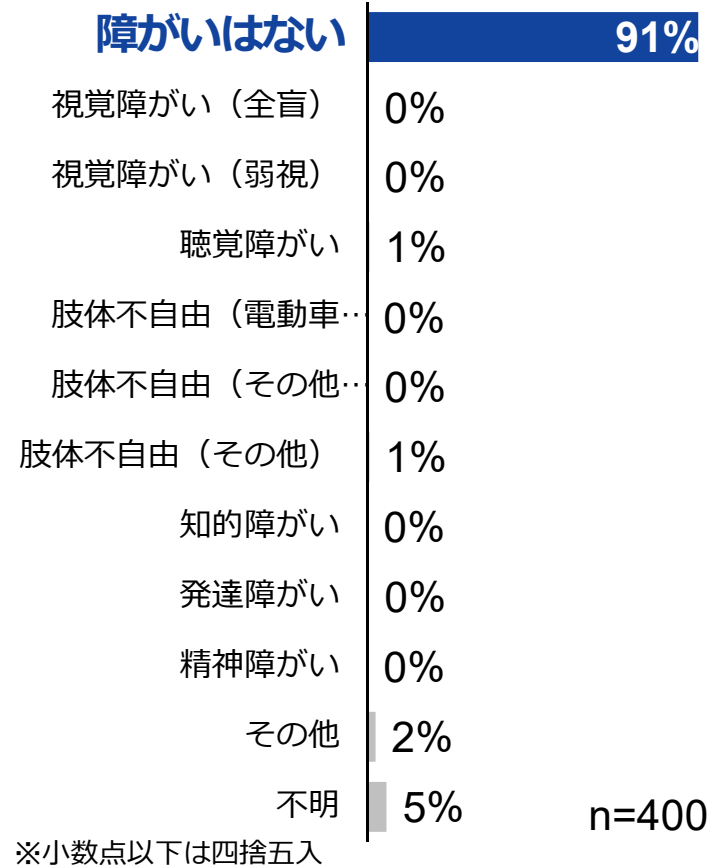


近畿内訳 (%)

大阪	兵庫	京都	奈良	滋賀	和歌山	三重	計
48	11	4	4	3	1	1	70

※小数点以下は四捨五入
構成比は合計しても必ずしも100にならない

障がいの有無



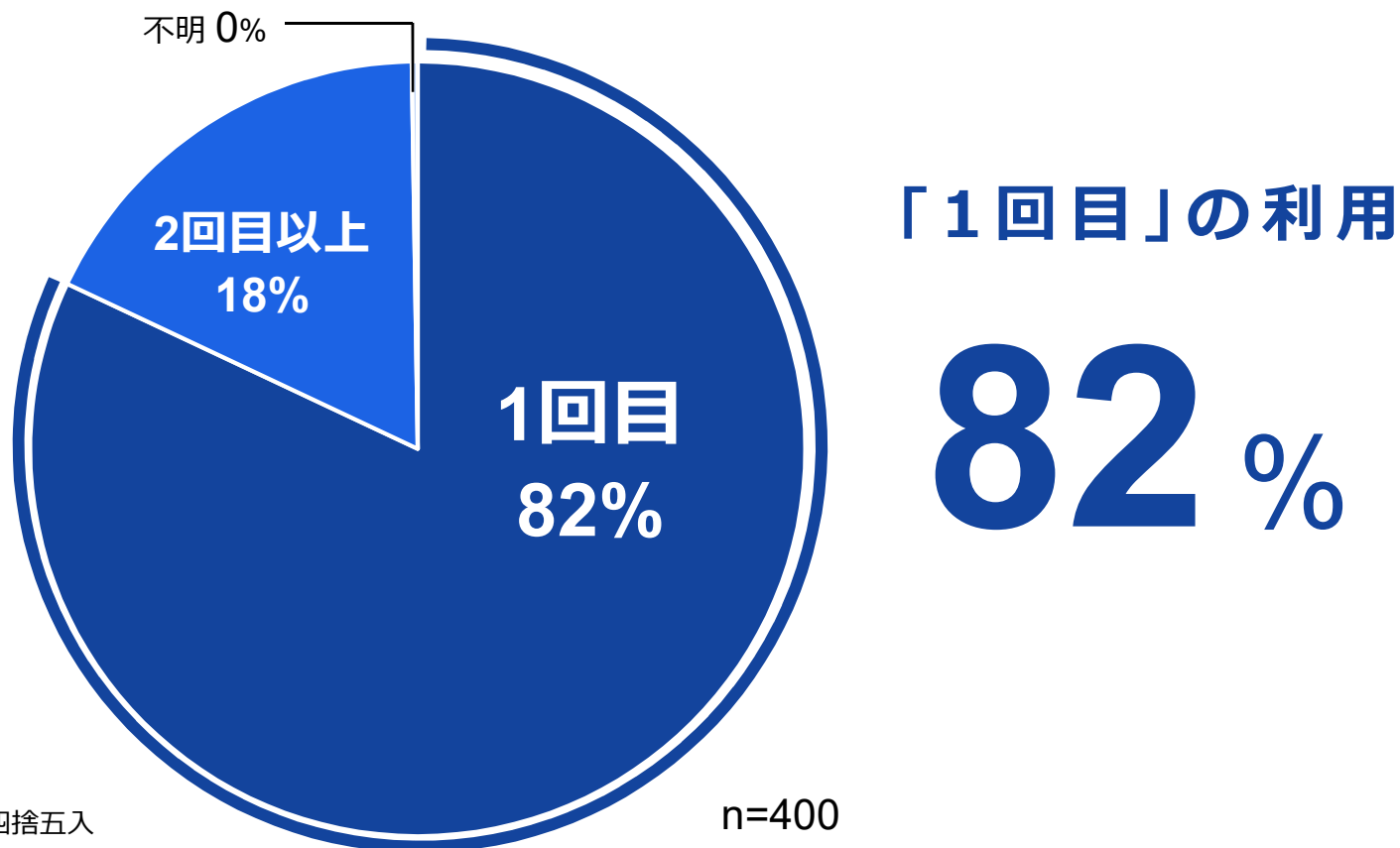
※小数点以下は四捨五入

大阪ヘルスケアパビリオン「みんなトイレ」 調査項目

カテゴリー	番号	質問項目
利用実態と意識	1	みんなトイレ使用回数
	2	みんなトイレ抵抗感有無
	3	使用したブース
	4	ブース選択時に役立ったもの
	5	コンセプトボードを読んだか
評価・課題と未来	6	使って感じたこと
	7	世の中に増えるとよいと思うか
	8	安全安心に使えるための工夫
	9	今後利用意向
	10	「オールジェンダートイレ」という言葉の認知
	11	トイレで困ったことの有無*これまでの経験として(一般論)
意識の変化	12	トイレに対する意識の変化(フリーコメント)

利用者の約8割が“初めての利用”

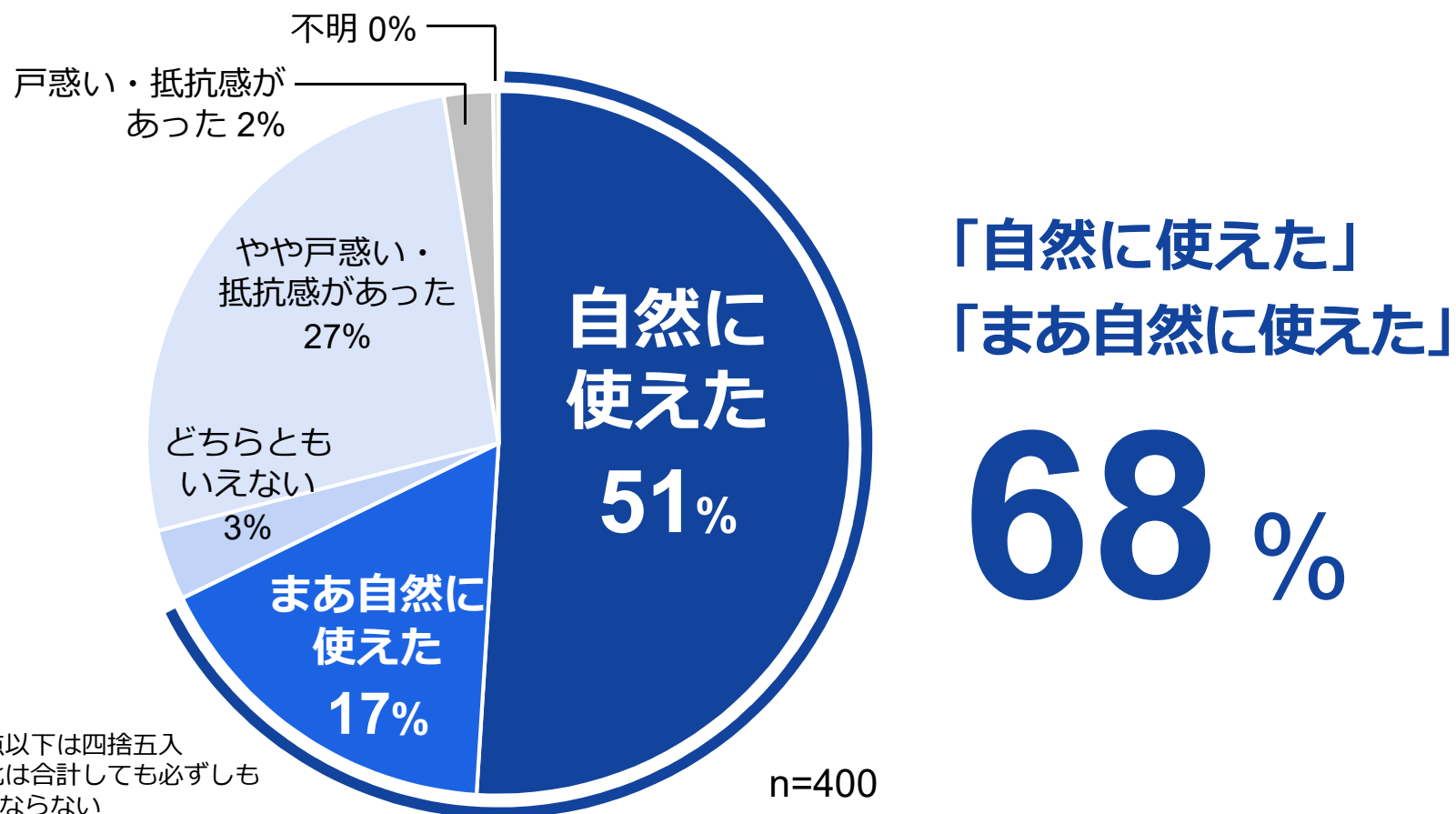
Q1 | このトイレを使うのは何回目ですか。



※小数点以下は四捨五入

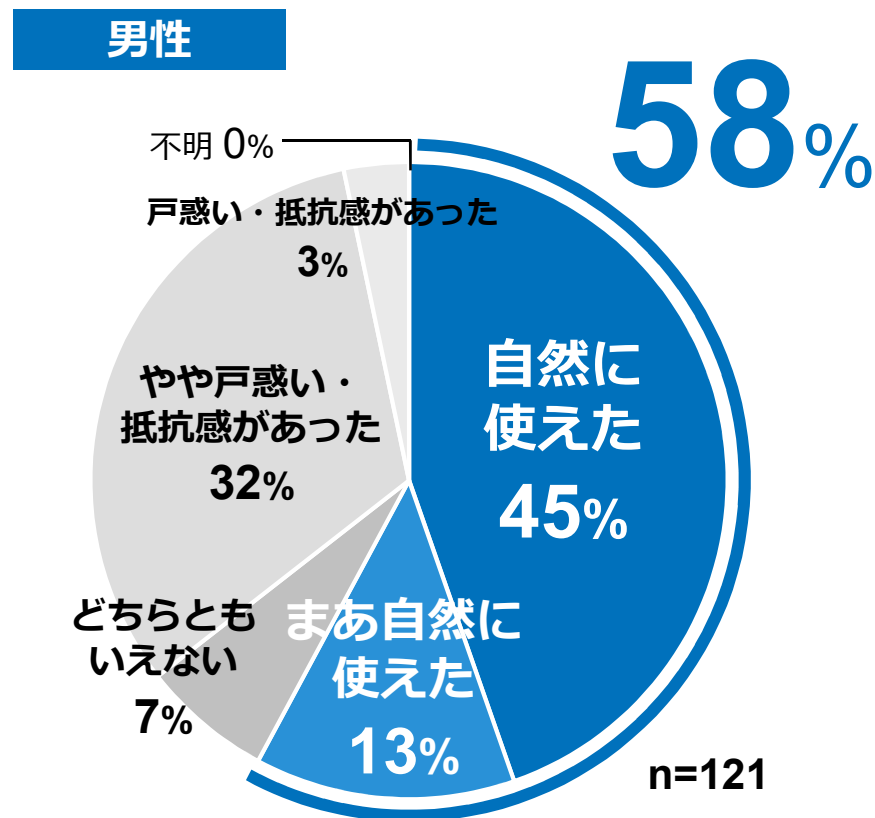
利用者の約7割がスムーズに利用
多くの利用者が大きな戸惑いなく利用

Q2 | このトイレは戸惑いや抵抗感なく、自然に使用できましたか。

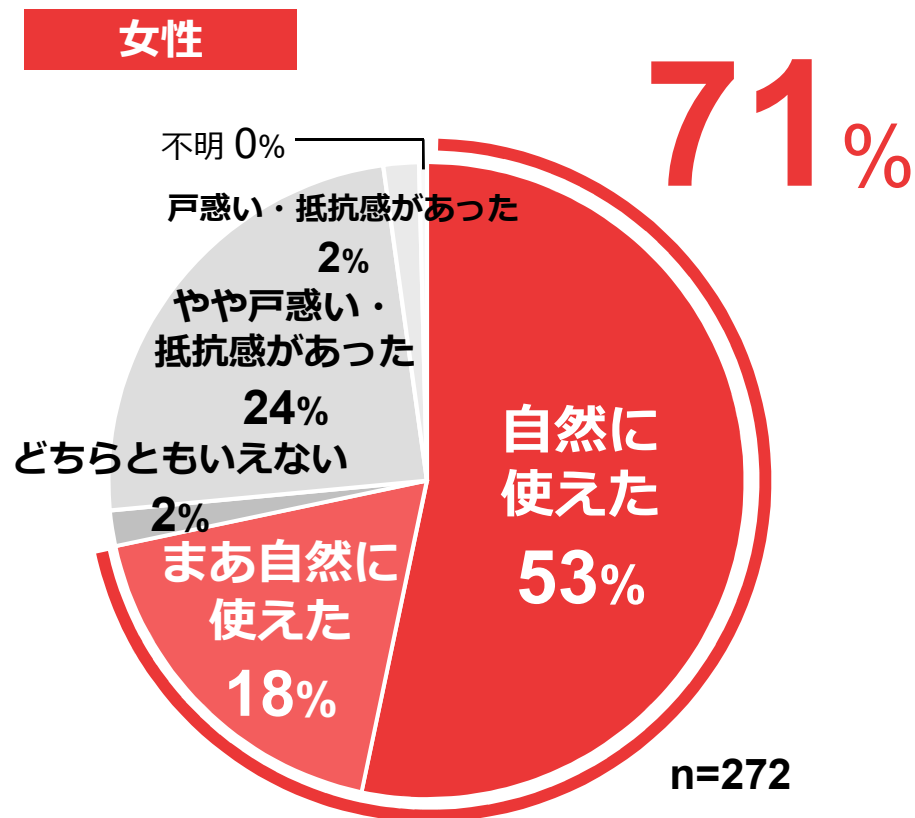


男性よりも女性の方が“自然に使えた”と感じた割合が高い
女性の方がスムーズに受け入れている傾向

Q2 | このトイレは戸惑いや抵抗感なく、自然に使えましたか。



※小数点以下は四捨五入



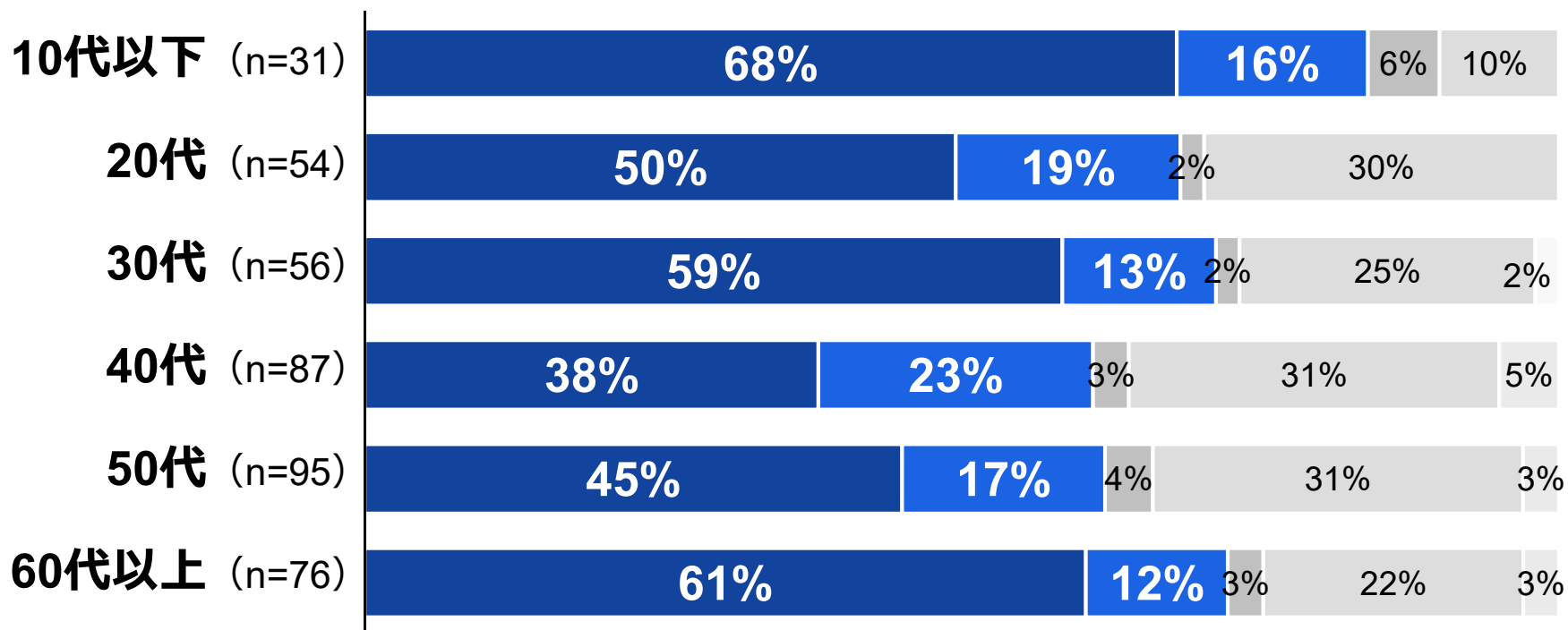
※小数点以下は四捨五入
構成比は合計しても必ずしも 100にならない

みんなトイレ抵抗感有無（年代別）

10代以下が最も自然に使えており、40代が最も低い

Q2 | このトイレは戸惑いや抵抗感なく、自然に使えましたか。

- 自然に使えた
- まあ自然に使えた
- どちらともいえない
- やや戸惑い・抵抗感があった
- 戸惑い・抵抗感があった
- 不明



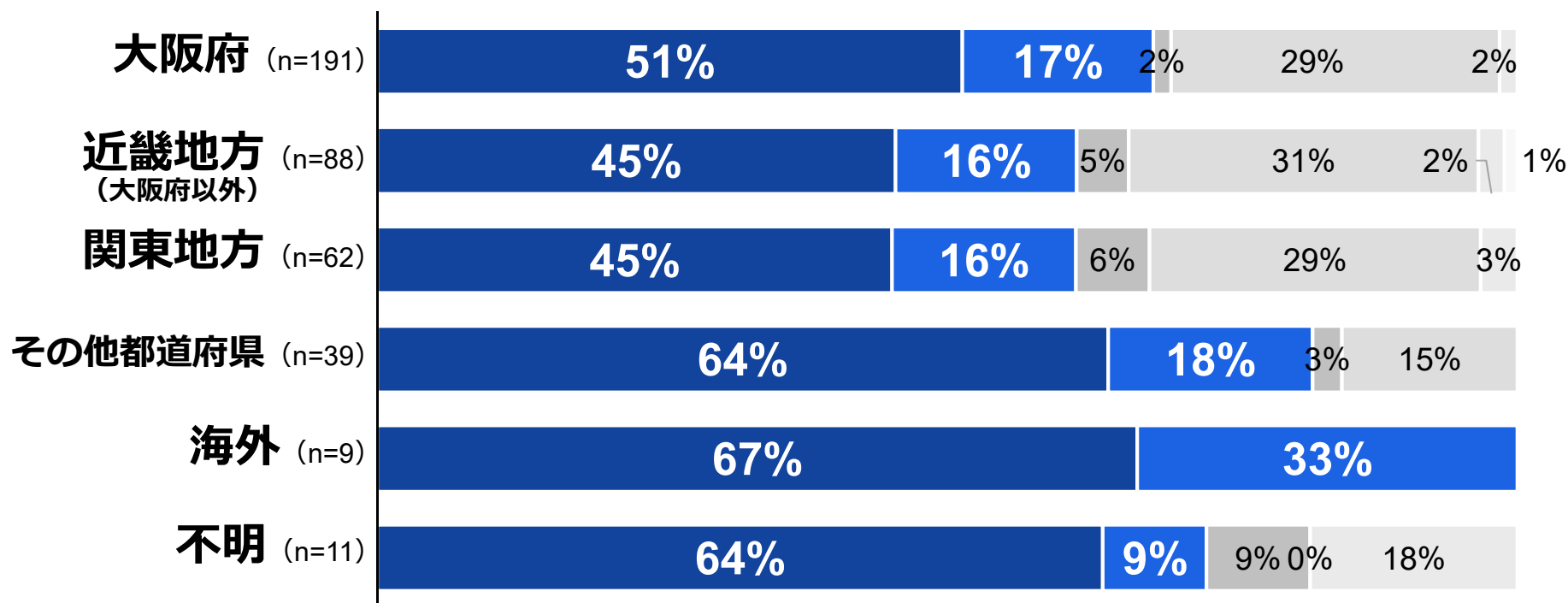
※小数点以下は四捨五入 構成比は合計しても必ずしも100にならない

みんなトイレ抵抗感有無（居住地別）

「**其他都道府県**」の肯定派（自然に使えた+まあ自然に使えた）は**82%**に達しており、都市部よりも受け入れられた

Q2 | このトイレは戸惑いや抵抗感なく、自然に使えましたか。

- 自然に使えた
- まあ自然に使えた
- どちらともいえない
- やや戸惑い・抵抗感があった
- 戸惑い・抵抗感があった
- 不明



※小数点以下は四捨五入 構成比は合計しても必ずしも100にならない

自然に使えた理由（フリーコメント）

“自然に使えた”理由は
使いやすい設計と安心できる環境が整っていたため

Q2-1 | そのように感じた理由を、具体的にお聞かせください。

自然に使えた理由

カテゴリー	具体的なコメント例
使いやすさ	モニターで空き状況がわかりやすい。 動線やレイアウトが明確で、迷わず使えた。 トイレの清潔感や雰囲気が良い。
配慮された設計	生理用品が置いてあるなど、利用者への配慮が感じられた。 ジェンダーレスなトイレの存在が新鮮で、 異性と一緒に入ることに面白さを感じた。 障がいがあっても使いやすい。
情報提供	ピクトグラムやサインがわかりやすく、利用しやすかった。 事前に情報を得ていたため、スムーズに使えた。
利用環境	混雑していなかったため、安心して使えた。 家族や子どもと一緒に使えたことで、抵抗感がなかった。 照明の明るさ、色調が入りやすい雰囲気だった。広さもあってよい。

戸惑い・抵抗感があった理由（フリーコメント）

戸惑いや抵抗感の多くは
“男女共用への不安”と“使い方の分かりにくさ”が原因

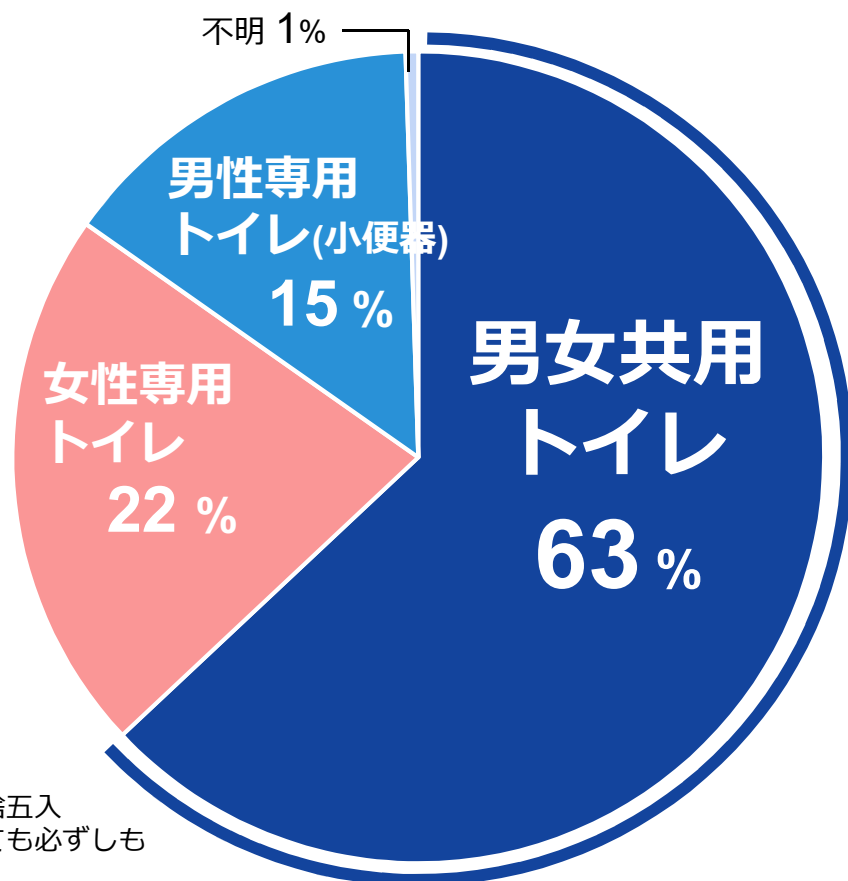
Q2-1 | そのように感じた理由を、具体的にお聞かせください。

戸惑い・抵抗感があった理由

カテゴリー	具体的なコメント例
男女共用の不安	男女が一緒に使うことに戸惑いや不安を感じた。 男性が近くにいることに対する気まずさや抵抗感。 手洗い場まで男女共用なのが気になった。
使い方の不明確さ	どのトイレを使って良いのかがわからず、戸惑った。 サインや表示がわかりにくく、どこに入るか迷った。 小便器の位置がわかりづらかった。 手洗い場が外にあると分かりにくいと思う。
初めての体験	男女共用トイレを初めて使うため、驚きや戸惑いがあった。 トイレの構造や配置が普段使っているものと異なり、混乱を招いた。
設備の不足	除菌スプレーがない。 流すボタンにひらがなが欲しい（小学1年生には読めない）

利用者の6割以上が“共用トイレ”を使用

Q3 | どのトイレブースを使用しましたか。



「男女共用トイレを
使用した」

63%

※小数点以下は四捨五入
構成比は合計しても必ずしも
100にならない

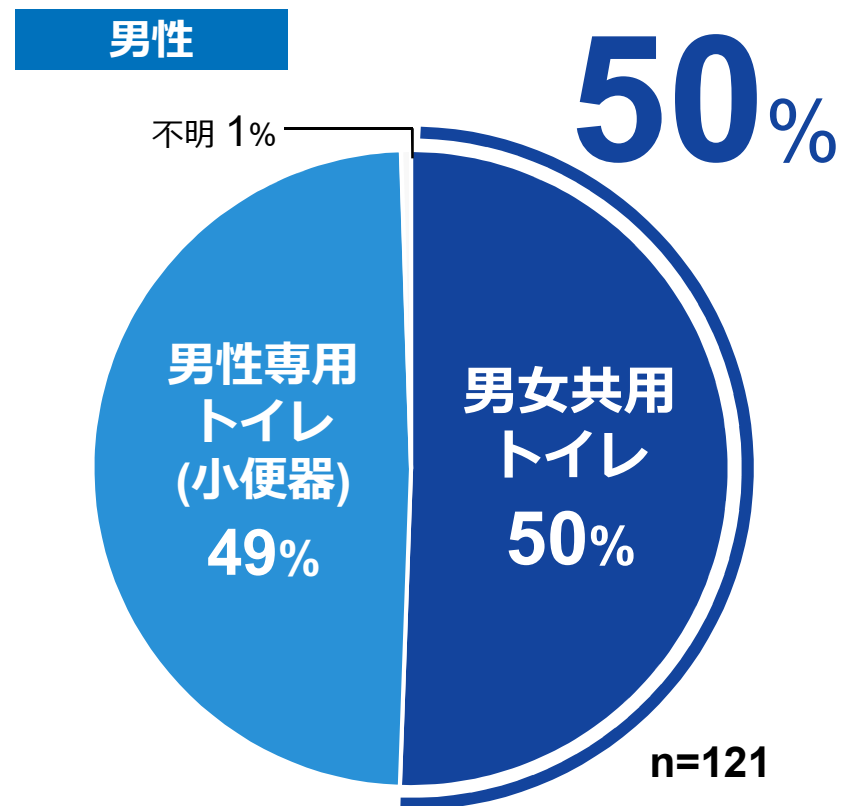
n=400

使用したブース（男女別）

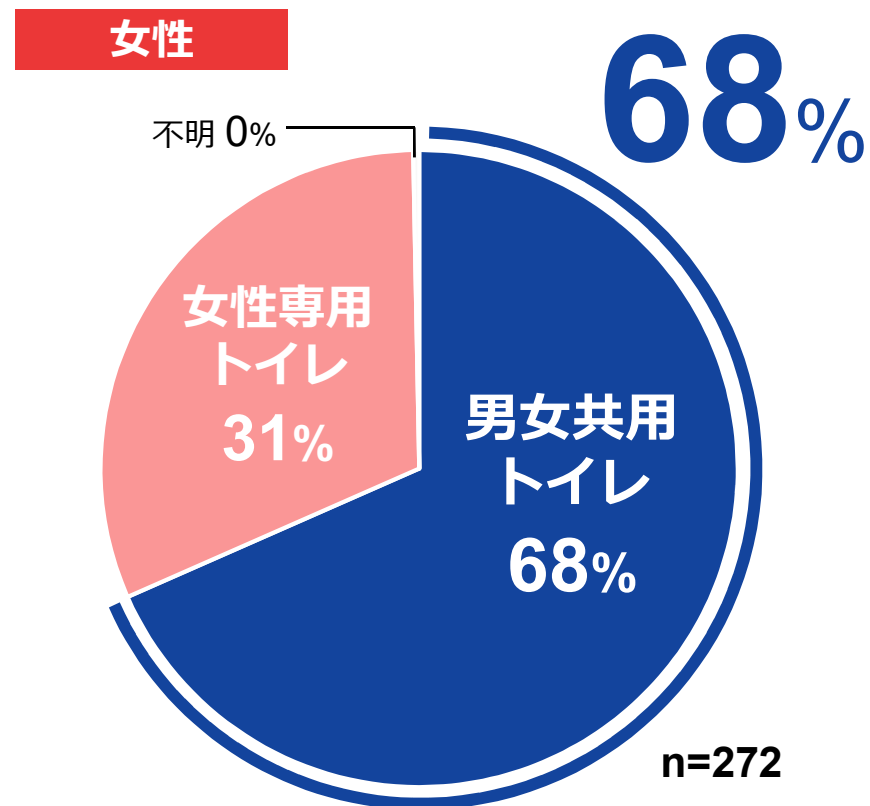
※内容を整理するため、色分けして記載しています。

男女とも共用トイレを利用する人が多いが
女性の方が共用を選ぶ割合が高い

Q3 | どのトイレブースを使用しましたか。



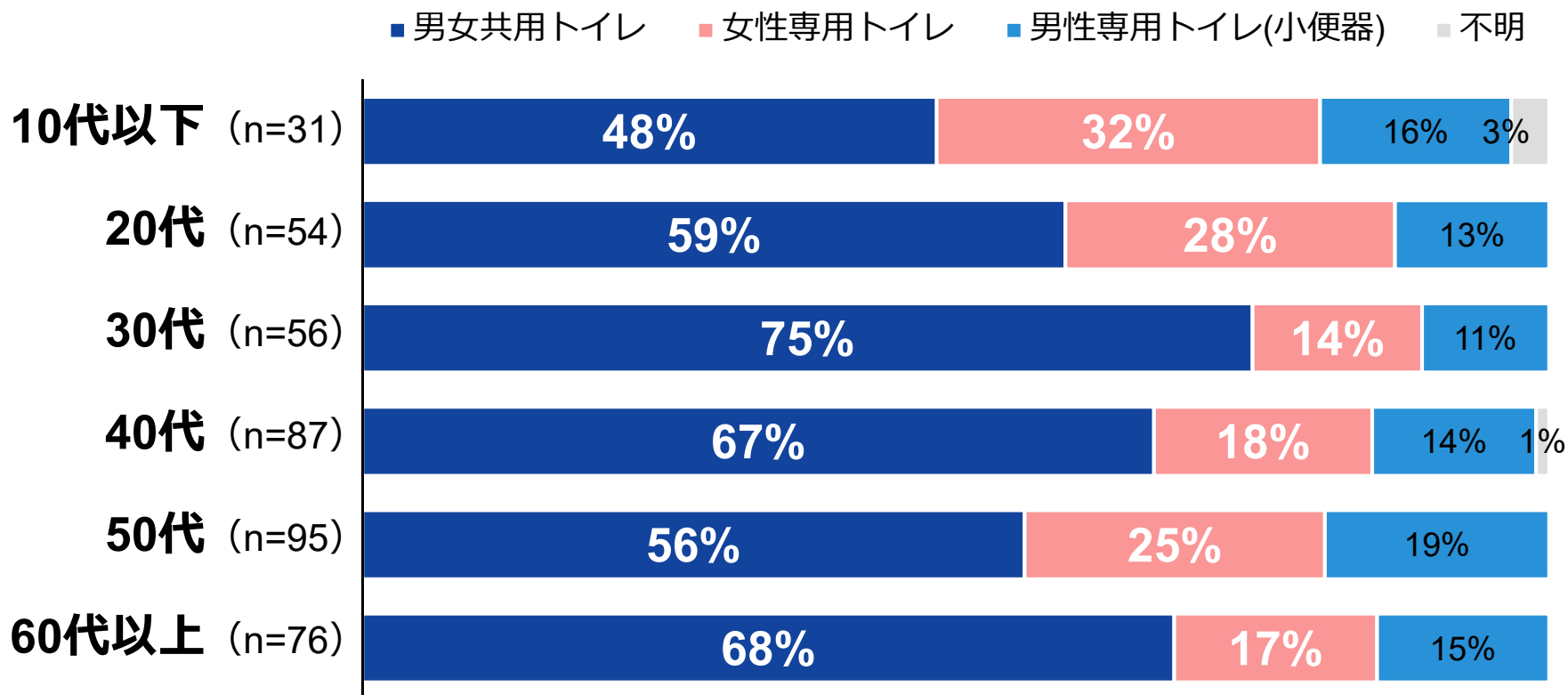
※小数点以下は四捨五入



※小数点以下は四捨五入
構成比は合計しても必ずしも 100にならない

どの年代でも共用トイレの利用が多数 特に30代で利用率が最も高い

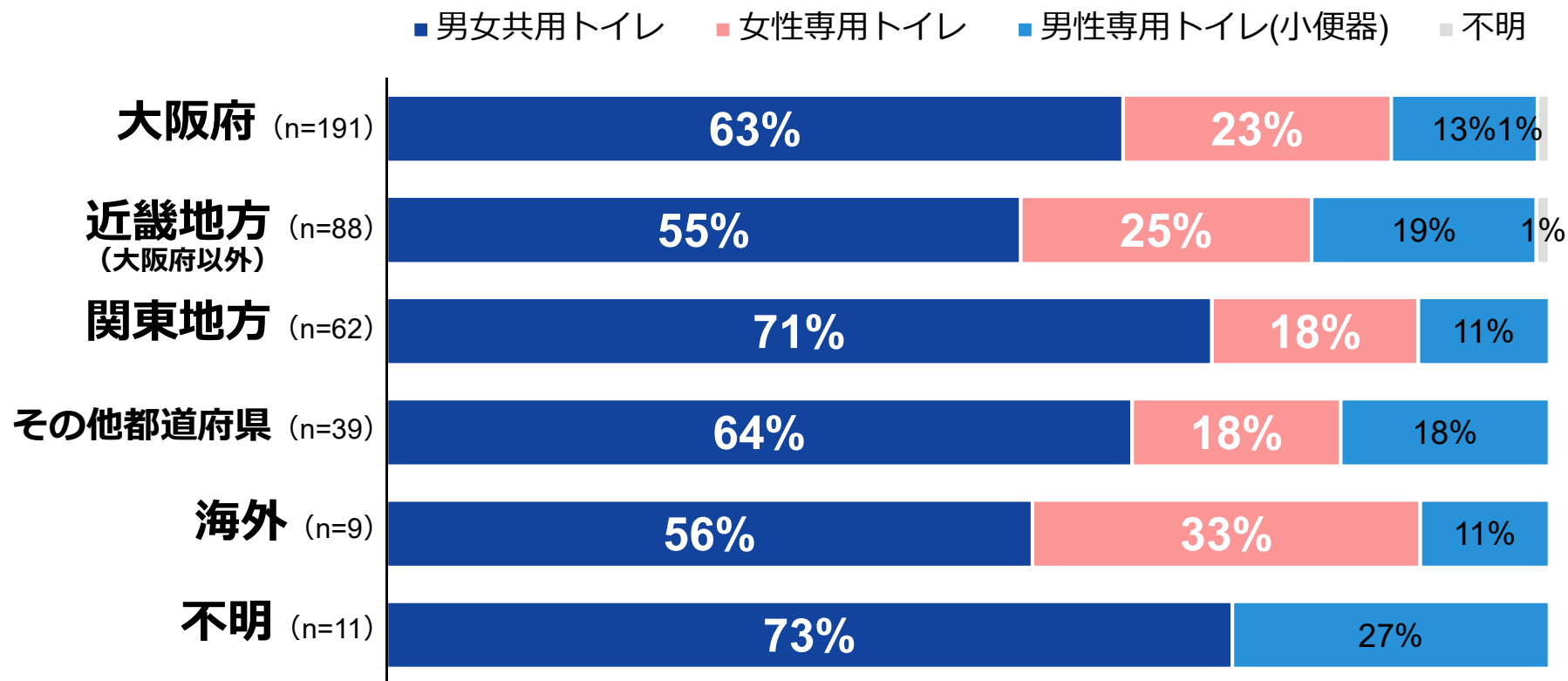
Q3 | どのトイレブースを使用しましたか。



※小数点以下は四捨五入 構成比は合計しても必ずしも100にならない

共用トイレは関東地方がもっとも利用率が高い

Q3 | どのトイレブースを使用しましたか。

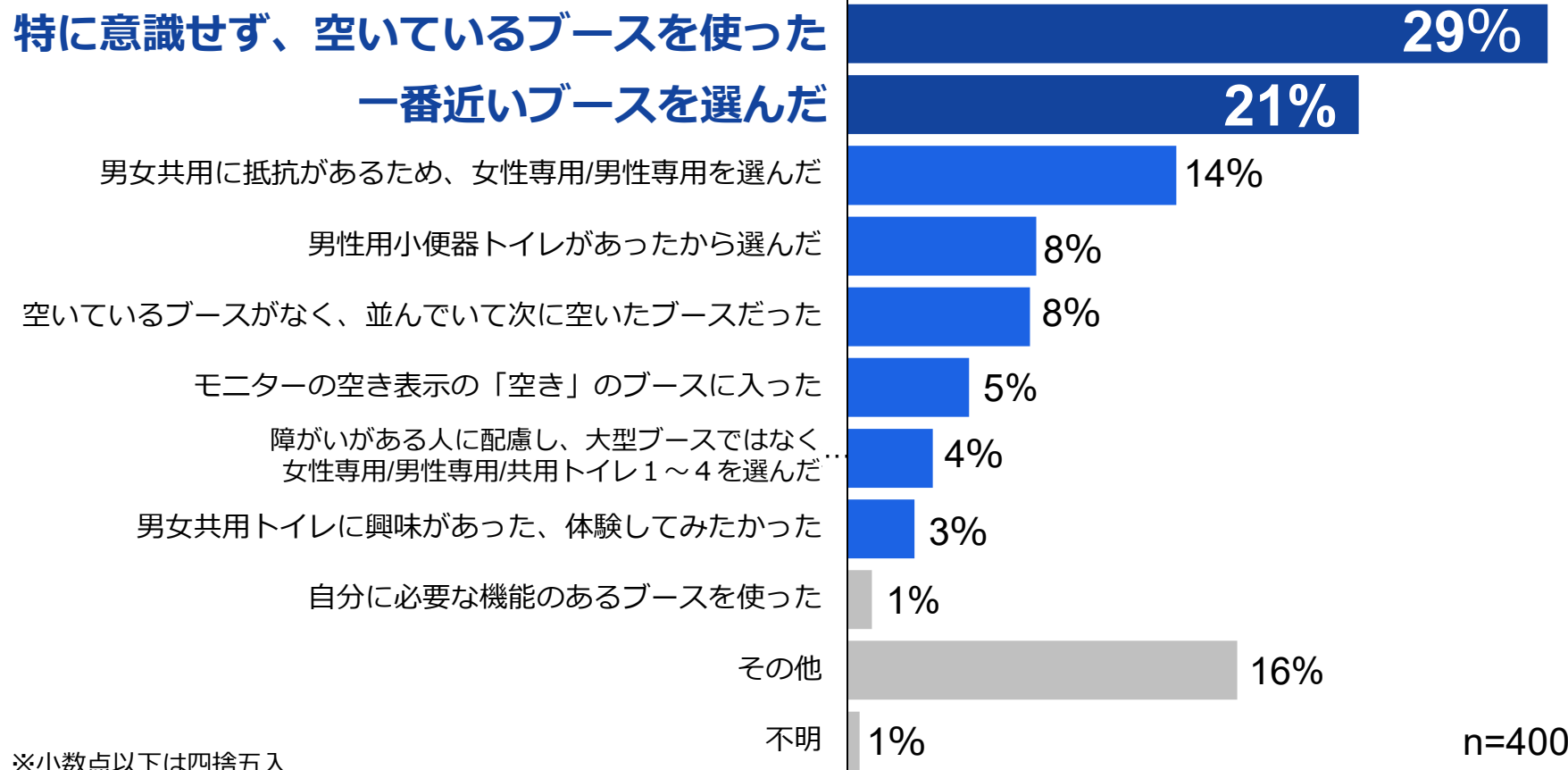


※小数点以下は四捨五入 構成比は合計しても必ずしも100にならない

ブース選択理由

利用者の多くは“空いている・近い”という理由で
ブースを選んでいる

Q3-1 | なぜそのブースを選びましたか。



ブース選択の理由は “状況に応じた判断”と“見た目の安心感”が中心

Q3-1 | なぜそのブースを選びましたか。 その他_フリーコメント

共用ブース（小）利用者

カテゴリー	具体的なコメント例
混雑回避 代替選択	<ul style="list-style-type: none">・女性用が混雑していたため、チャレンジとして。・男性用に小便器しかなかったため。
広さ・設備の見た目	<ul style="list-style-type: none">・広そうだったから。・誰でも入れることが明示されており、戸が開いていたので中が見えた。・カーテンのあるブースがあり、障がい者用のブースだと思って避けて小さいブースを選んだ。
研究・学び目的	<ul style="list-style-type: none">・万博トイレ研究の一環として、トランスジェンダーが使えるトイレを選んだ。
同行者の利用状況	<ul style="list-style-type: none">・お母さんが使用したため。
習慣・継続利用	<ul style="list-style-type: none">・3日連続で利用しており、初回は別のトイレを使ったが、今日はこのトイレにした。

トイレブース選択理由

**広さや設備が“家族連れ・介助が必要な利用者”にとって
使いやすかったため**

Q3-1 | なぜそのブースを選びましたか。 その他_フリーコメント

共用ブース（中）利用者

カテゴリー	具体的なコメント例
子ども連れ・育児対応	<ul style="list-style-type: none">・子供と入れそうな広さがあったため。・入口目の前のトイレがベビーカーで入れる広さだったから。・おむつ替えと子ども（小学生）が使うため。
介助・介護の必要性	<ul style="list-style-type: none">・車いすのお母さんを連れての利用。
体験・試用目的	<ul style="list-style-type: none">・2回目の女性トイレで、いろいろ試したかったため。

共用ブース（大）利用者

カテゴリー	具体的なコメント例
オストメイト対応が必要	<ul style="list-style-type: none">・オストメイト利用のため。
子ども連れ・育児対応	<ul style="list-style-type: none">・空いていて、娘と2人で入れそうな広さだったから。
広さ・設備の見た目	<ul style="list-style-type: none">・広さが良く、女性用を見てから移動した。

女性用ブースを選んだ理由は “安心感”と“分かりやすさ”

Q3-1 | なぜそのブースを選びましたか。 その他_フリーコメント

女性用ブース 利用者

カテゴリー	具体的なコメント例
同行者の利用状況	<ul style="list-style-type: none">・一緒にいた母が女性トイレに行ったため。・家族が使ったトイレの近くにあったため。
混雑回避 空いている方を選択	<ul style="list-style-type: none">・共用が混んでいたため、空いていた女性用を選んだ。
わからなかった	<ul style="list-style-type: none">・たくさんあって迷い、いつもの女性トイレに入った。・どこに入ったらいいかわからなかったため、マークを見て女性用を選んだ。・自分がこのトイレを使用していいのか分からなかった（戸惑った）。・共用は使用していいのか分からなかったため。
衛生面 (汚れが気になった)	<ul style="list-style-type: none">・前に共用を使った際に汚かったため、女性用を選びたかった。・前に使った万博トイレ内のオールジェンダーが汚れていたため、女性用を選んだ。
性別利用への心理的抵抗	<ul style="list-style-type: none">・男性が使っているのが気になったため。

トイレブース選択理由

男性用（小便器のみ）を選んだ理由は “慣れ・判断しやすさ・混雑回避”

Q3-1 | なぜそのブースを選びましたか。 その他_フリーコメント

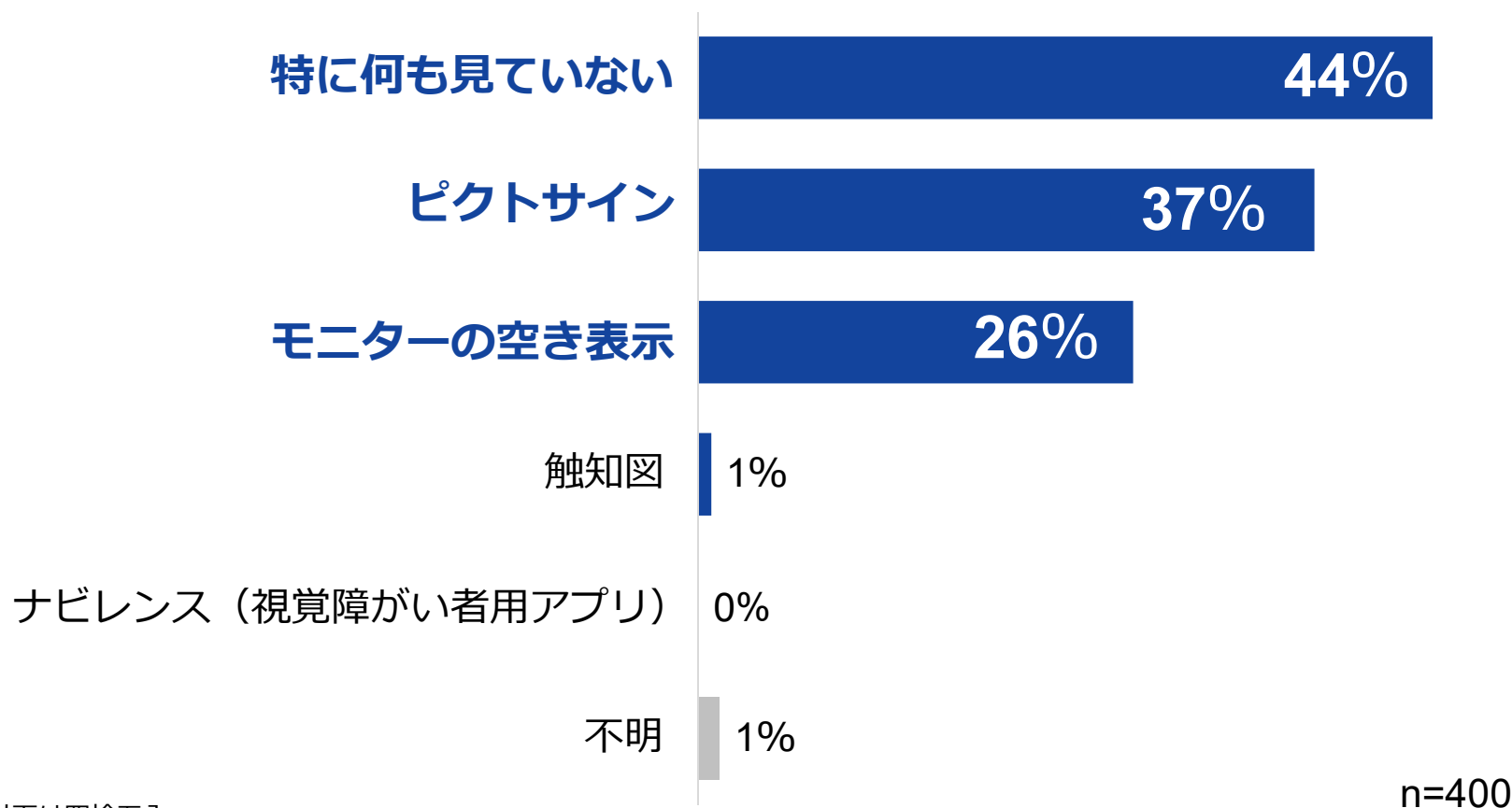
男性用（小便器のみ） 利用者

カテゴリー	具体的なコメント例
慣れ・安心感	<ul style="list-style-type: none">・安心感があり、慣れたものを使ったため。・男性にとって小便器は楽だと思った。
表示・サインによる判断	<ul style="list-style-type: none">・男性マークがあったので、男性用だと判断した。
設備の特徴 (構造・使いやすさ)	<ul style="list-style-type: none">・ドアの開閉がないため、選んだ。
混雑回避・空いている方 を選択	<ul style="list-style-type: none">・共用ブースが混んでいたため、男性用を選んだ。
清掃状況による選択	<ul style="list-style-type: none">・ブースの掃除をしていたため、小便器を使った。
環境要因（快適さ）	<ul style="list-style-type: none">・並ばなくて済んだため。

ブース選択時に役立ったもの

多くの利用者は“特に何も見ずに”ブースを選んでいる

Q4 | トイレブースを選択するときに何が役に立ちましたか。(複数回答可)

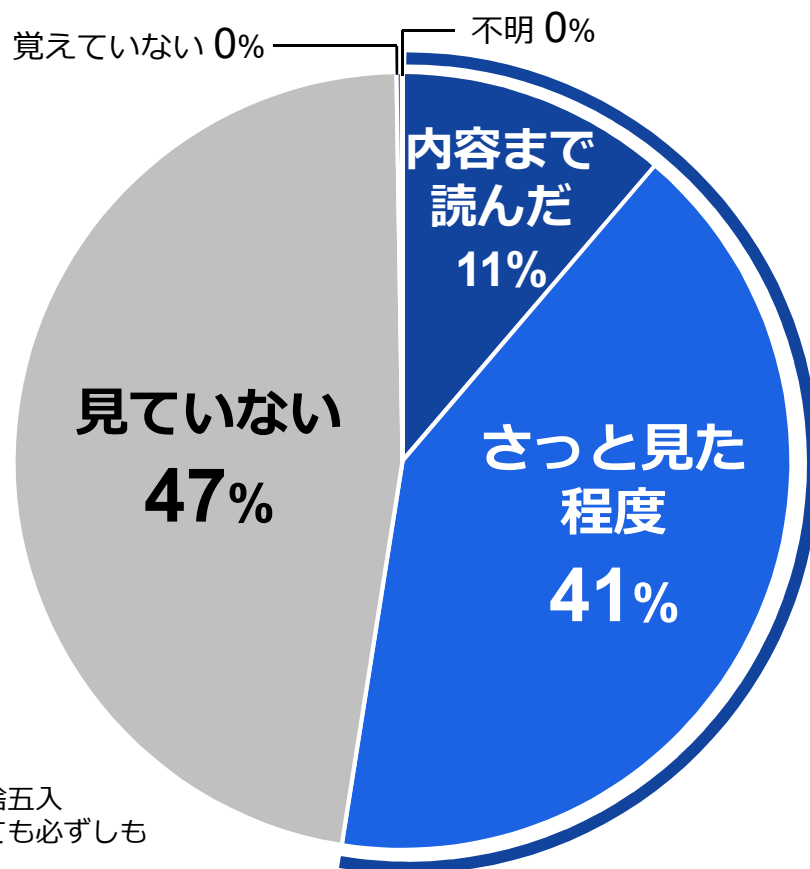


※小数点以下は四捨五入

コンセプトボードを読んだか

半数以上がコンセプトボードを認知しており
内容理解には至らなくても“目に留まっている”

Q5 | トイレの入り口横のコンセプトボードは読まれましたか。



「内容まで読んだ」
「さっと見た程度」

52%

※小数点以下は四捨五入
構成比は合計しても必ずしも
100にならない

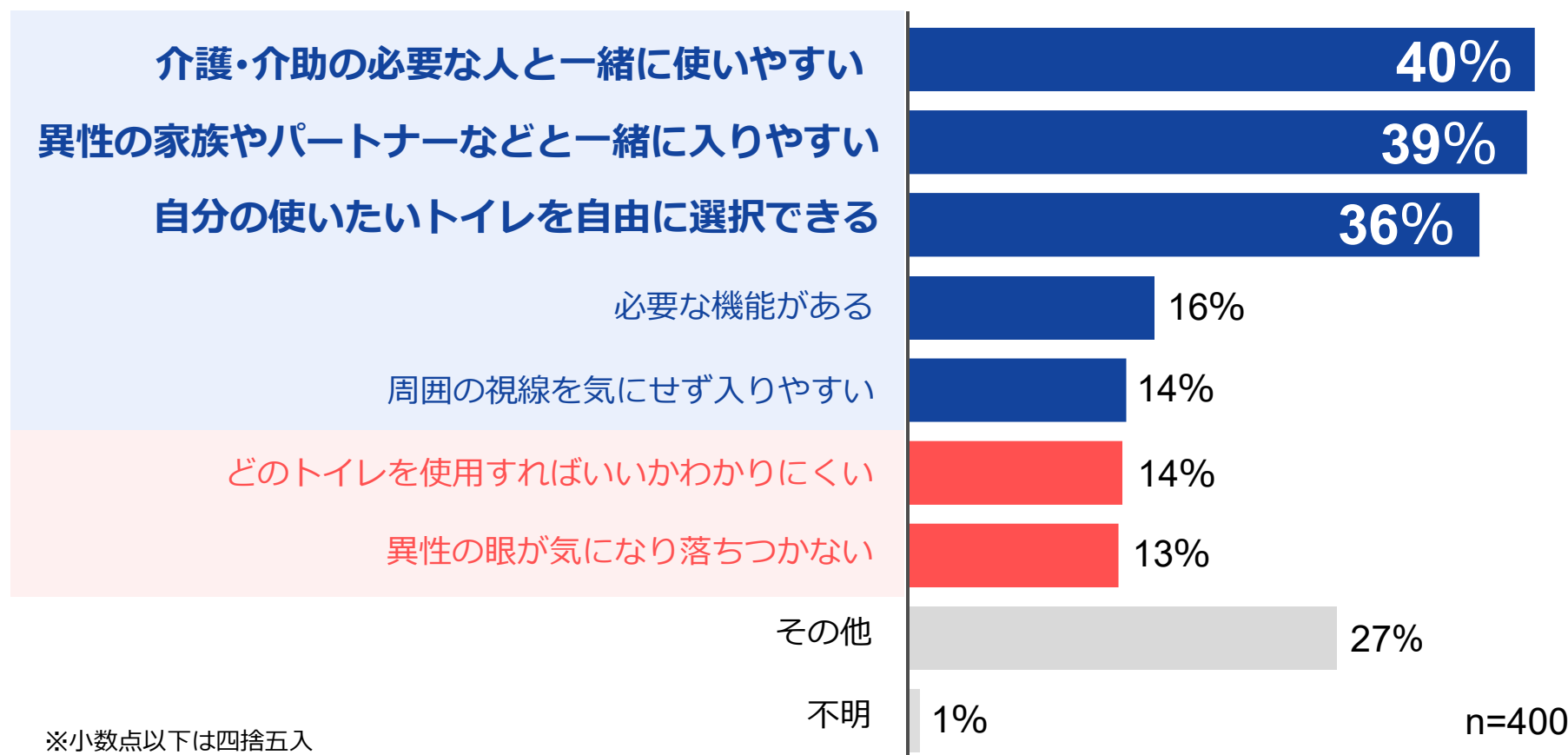
n=400

使って感じたこと

“みんなトイレ”は、家族・介助・自由な選択を支える
使いやすいトイレとして評価

Q6 | 「みんなトイレ」を使って感じたことについて
良い点・悪い点をお聞かせください。(複数回答可)

■ 良い点
■ 悪い点



※小数点以下は四捨五入

トイレブースを利用して感じたこと

**広さ・使いやすさ・多様性への配慮を高く評価
新しい体験として前向きに受け入れている**

Q6

**「みんなトイレ」を使って感じたことについて
良い点・悪い点をお聞かせください。**

その他_フリーコメント

良い点（ポジティブ） 要点版

設備・アメニティ	生理用品がある／背もたれ・ベビーケアが良い
広さ・使いやすさ	広くて使いやすい／子ども連れ・荷物が多くても安心
衛生・雰囲気	キレイに使われている／見通しが良く入りやすい
多様性・受容	トランスジェンダーにも使いやすい／抵抗感が少ない
体験・新しさ	斬新で良い
利便性	選択肢が多い／混雑緩和に役立つ／ブース数が多い

トイレブースを利用して感じたこと

一方で、案内の分かりにくさや安心感・防犯面への不安が大きく
設備面の細かな改善が求められている

Q6 | 「みんなトイレ」を使って感じたことについて
良い点・悪い点をお聞かせください。
その他_フリーコメント

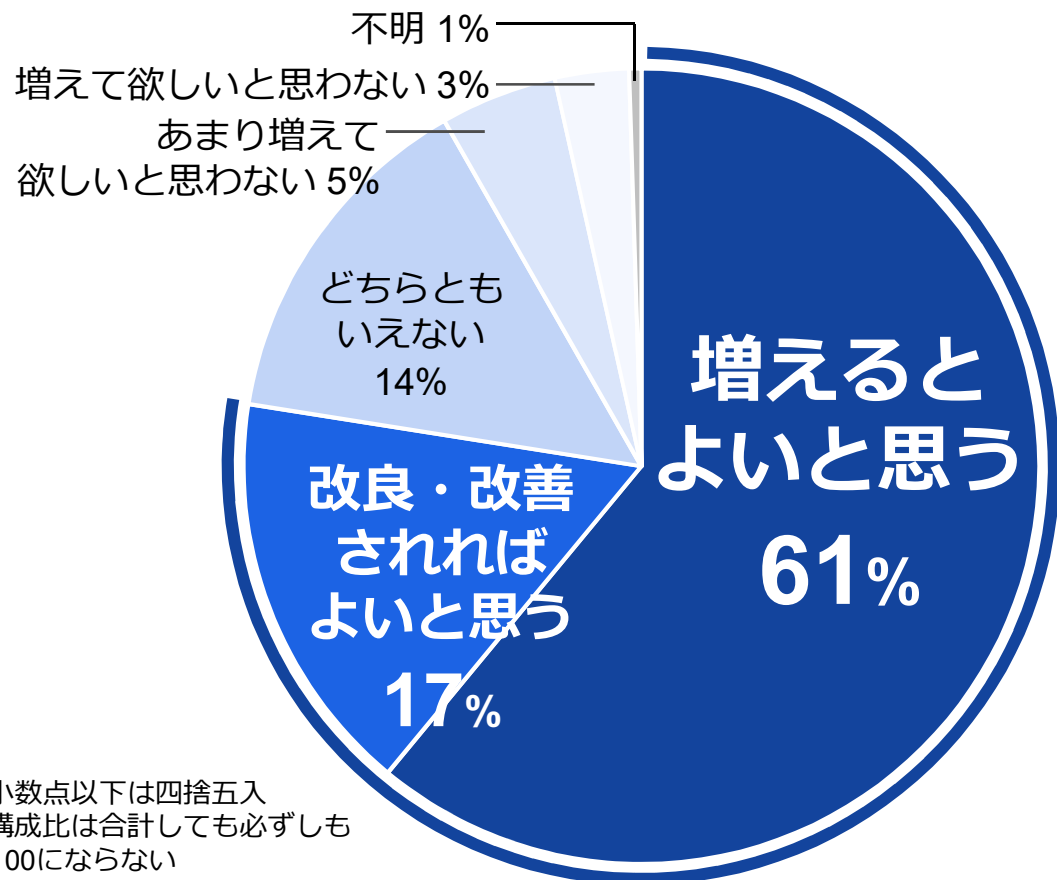
悪い点（ネガティブ） 要点版

設備・アメニティ不足	生理用品が空／化粧・鏡・除菌が不足／小便器増設希望
案内・分かりにくさ	モニター分かりにくい 専用トイレや身障者用が不明瞭
衛生面	汚れが気になる
安心感・心理的不安	男女共用への不安／子ども連れの不安／戸惑いがある
防犯・セキュリティ	防犯面が心配という声
空間の課題	カーテンの圧迫感／視認性が悪い／外の会話が気になる

世の中に増えるとよいと思うか

利用者の6割以上が普及を望んでおり
全体として前向きに受け入れられている

Q7 | あなたは、「このようなトイレ」が世の中に増えると
よいと思いますか。



「増えるとよいと思う」
「改良・改善されれば
よいと思う」

78%

※小数点以下は四捨五入
構成比は合計しても必ずしも
100にならない

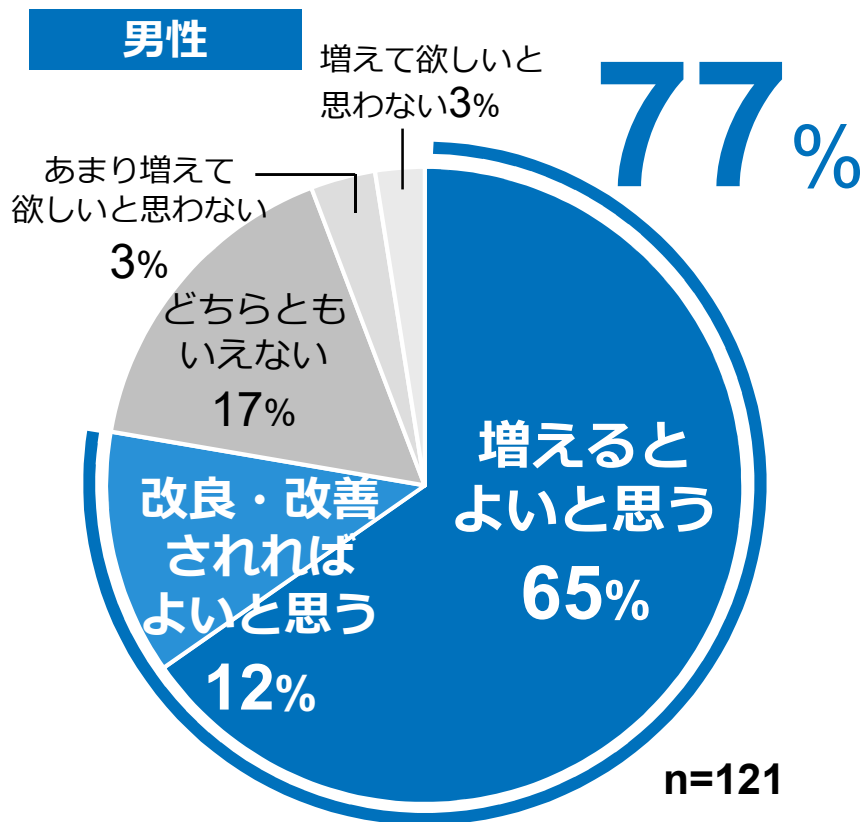
n=400

世の中に増えるとよいと思うか（男女別）

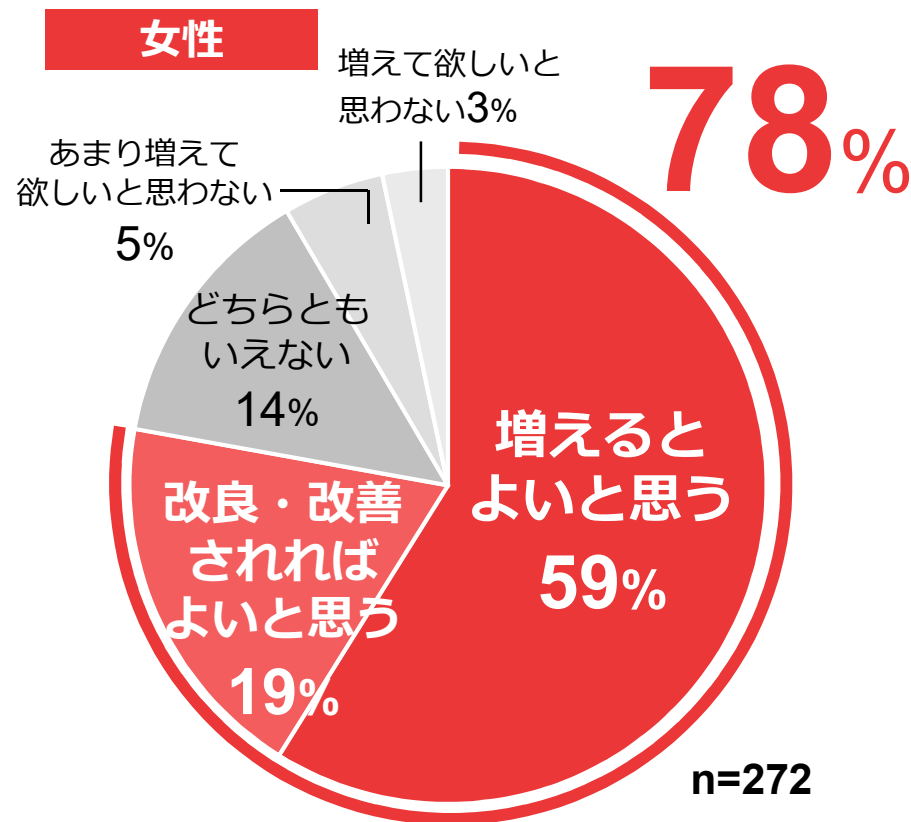
※内容を整理するため、色分けして記載しています。

“みんなトイレ”は性別を問わず 肯定的に受け入れられている

Q7 | あなたは、「このようなトイレ」が世の中に増えるとよいと思いますか。



※小数点以下は四捨五入



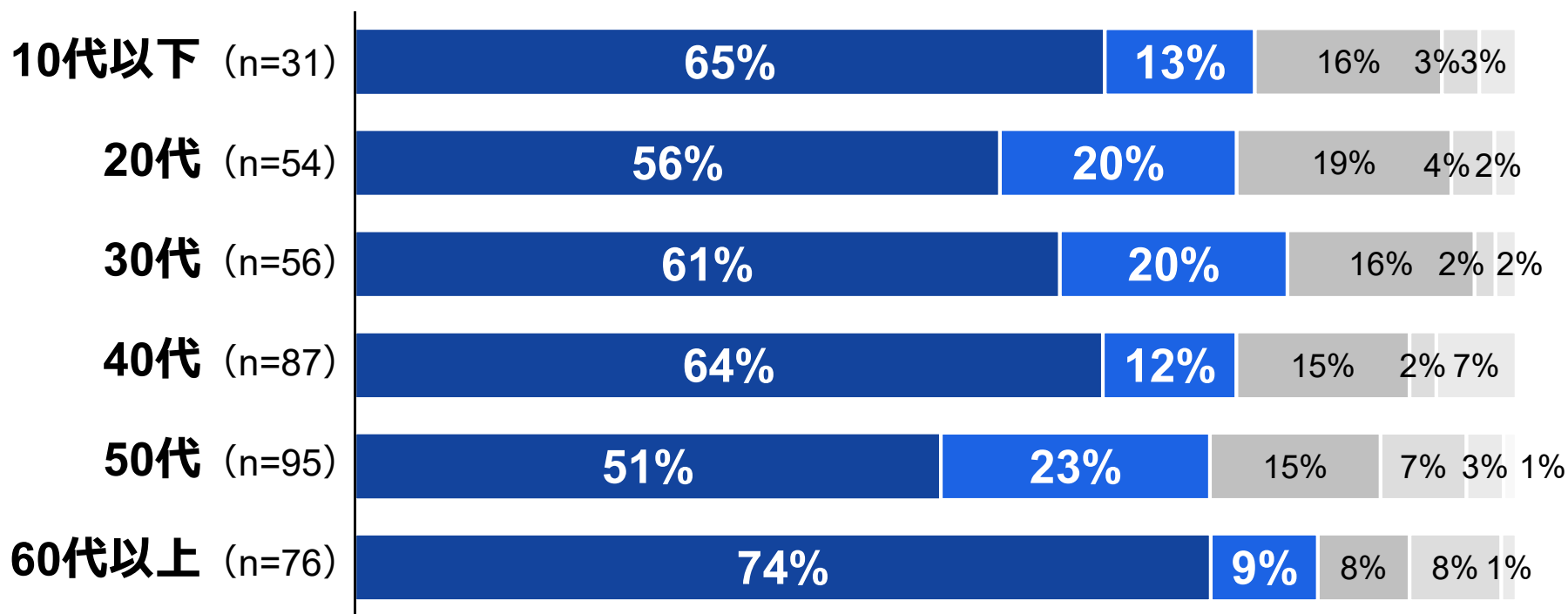
※小数点以下は四捨五入

世の中に増えるとよいと思うか（年代別）

幅広い年代に受け入れられている

Q7 | あなたは、「このようなトイレ」が世の中に増えるとよいと思いますか。

- 増えるとよいと思う
- 改良・改善されればよいと思う
- どちらともいえない
- あまり増えて欲しいと思わない
- 増えて欲しいと思わない
- 不明



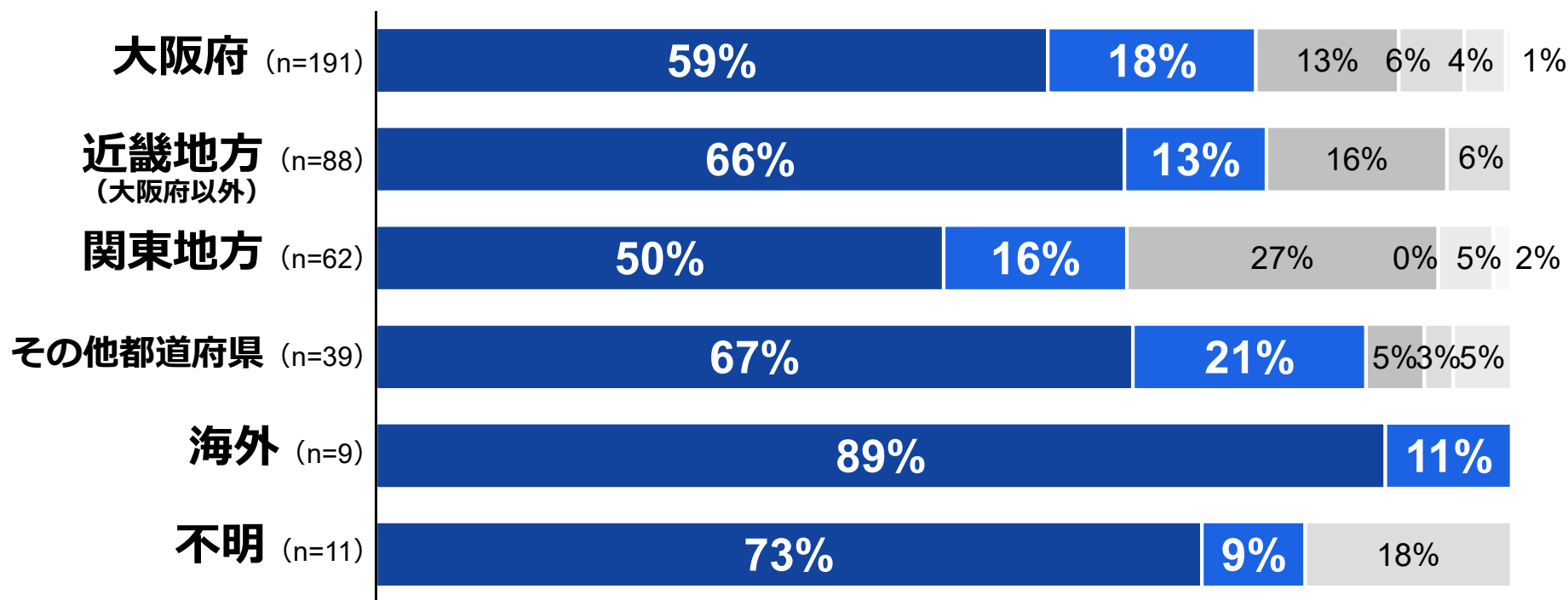
※小数点以下は四捨五入 構成比は合計しても必ずしも100にならない

世の中に増えるとよいと思うか（居住地別）

その他の都道府県では 88%が前向きな反応を示す一方
 関東に比べ、その他地域ではより普及を望む傾向が強い

Q7 | あなたは、「このようなトイレ」が世の中に増えるとよいと思いますか。

- 増えるとよいと思う
- 改良・改善されればよいと思う
- どちらともいえない
- あまり増えて欲しいと思わない
- 増えて欲しいと思わない
- 不明



※小数点以下は四捨五入 構成比は合計しても必ずしも100にならない

世の中に増えると思うか理由

みんなトイレは、使いやすさ・多様性・効率性の面で
大きなメリットがある

Q7-1 | その理由をお聞かせください。

「増えると思う」を選択した方のコメント

項目	要点（端的なまとめ）	実際のコメント（抜粋）
使いやすさ	誰でも使いやすく、混雑緩和にもつながる	<ul style="list-style-type: none">・選択肢が多く、連れと一緒に使いやすい・スペースが広く、子供と入りやすい・混雑緩和に役立つと感じた・トイレブースが多くて良かった
多様性への配慮	ジェンダーや障がいに関係なく利用しやすい	<ul style="list-style-type: none">・トランスジェンダーの人も使いやすい・みんなのトイレに抵抗感がなかった・障がいの方には分かりづらいかもしれない（＝配慮が必要）
合理性・効率性	空き待ちが減り、利用効率上がる	<ul style="list-style-type: none">・空いているところがすぐわかると良い・待ち合わせしやすく、広さが良いと感じた・男女別の方が安心感はあるが、皆にとって普通になれば良いと思った
社会の流れ	ジェンダーレス化が進み、共用が自然になる	<ul style="list-style-type: none">・初めての体験で斬新だった・男女で入れることに驚いた・みんなトイレに抵抗感がなかった
清潔・快適性	広くて清潔な空間が求められている	<ul style="list-style-type: none">・特に気にならず、キレイだった・男女とも使うのでキレイに使おうと気を使った・広いスペースが良い

世の中に増えると思うか理由

**安全性・プライバシー・利用者理解・混雑対策の4点が
改善に向けた主要な課題として挙がっている**

Q7-1 | その理由をお聞かせください。

「改良・改善されればよいと思う」を選択した方のコメント

項目	要点（端的なまとめ）	実際のコメント（抜粋）
安全性	女性・子どもの安全確保のため、防犯対策が必要	<ul style="list-style-type: none">・防犯対策が必要・女性や子供の安全が懸念される・セキュリティの強化が求められる
プライバシー	共用でも安心できる、プライバシー確保の設計が必要	<ul style="list-style-type: none">・プライバシーが保たれる設計が望まれる・男女共用の場合は工夫が必要
利用者の理解	新しい形のトイレへの理解促進とルール・マナーの浸透が必要	<ul style="list-style-type: none">・社会全体が理解を深める必要がある・利用者がルールやマナーを守ることが重要
混雑の問題	共用化で逆に混雑する可能性があり、設計・配置の工夫が必要	<ul style="list-style-type: none">・混雑が生じる可能性がある・設計や配置に工夫が必要

世の中に増えると思うか理由

**共用トイレには、抵抗感・防犯・衛生面などの不安があり
場所や状況によって評価が分かれることが課題**

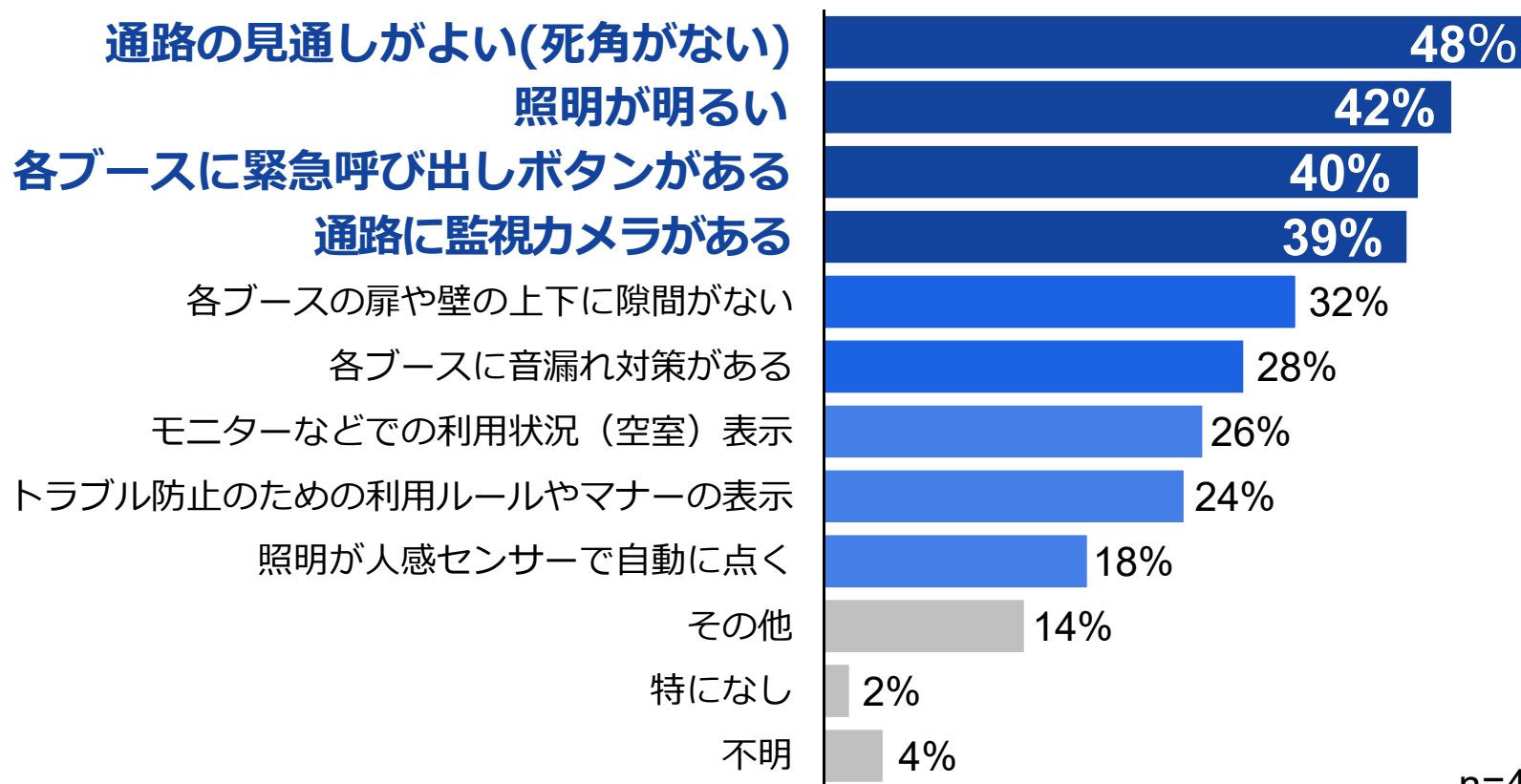
Q7-1 | その理由をお聞かせください。

「どちらともいえない」「あまり増えて欲しいと思わない」を選択した方のコメント

項目	要点（端的なまとめ）	実際のコメント（抜粋）
個人の意見の違い	共用への抵抗感やマナーへの不安から、意見が分かれる	<ul style="list-style-type: none">・共用トイレに抵抗感がある・利用者のマナーが心配
利用シーンによる違い	場所や状況で必要性・安心感が変わり、増やすべきか判断が難しい	<ul style="list-style-type: none">・場所や状況によって安心感が変わる・一概に増やすべきとは言えない
防犯面の懸念	共用は防犯面で不安が大きく、特に女性・子どもが心配	<ul style="list-style-type: none">・防犯の不安が強い・女性や子供の安全が心配
衛生面の不安	男性利用後の衛生状態が気になり、男女別の方が安心	<ul style="list-style-type: none">・衛生状態が気になる・男女別トイレの方が安心感がある

安全安心のためには“見通し・明るさ・緊急対応”が重要

Q8 | どのような工夫があれば「このようなトイレ」を安全安心に使えると思いますか。(複数回答可)



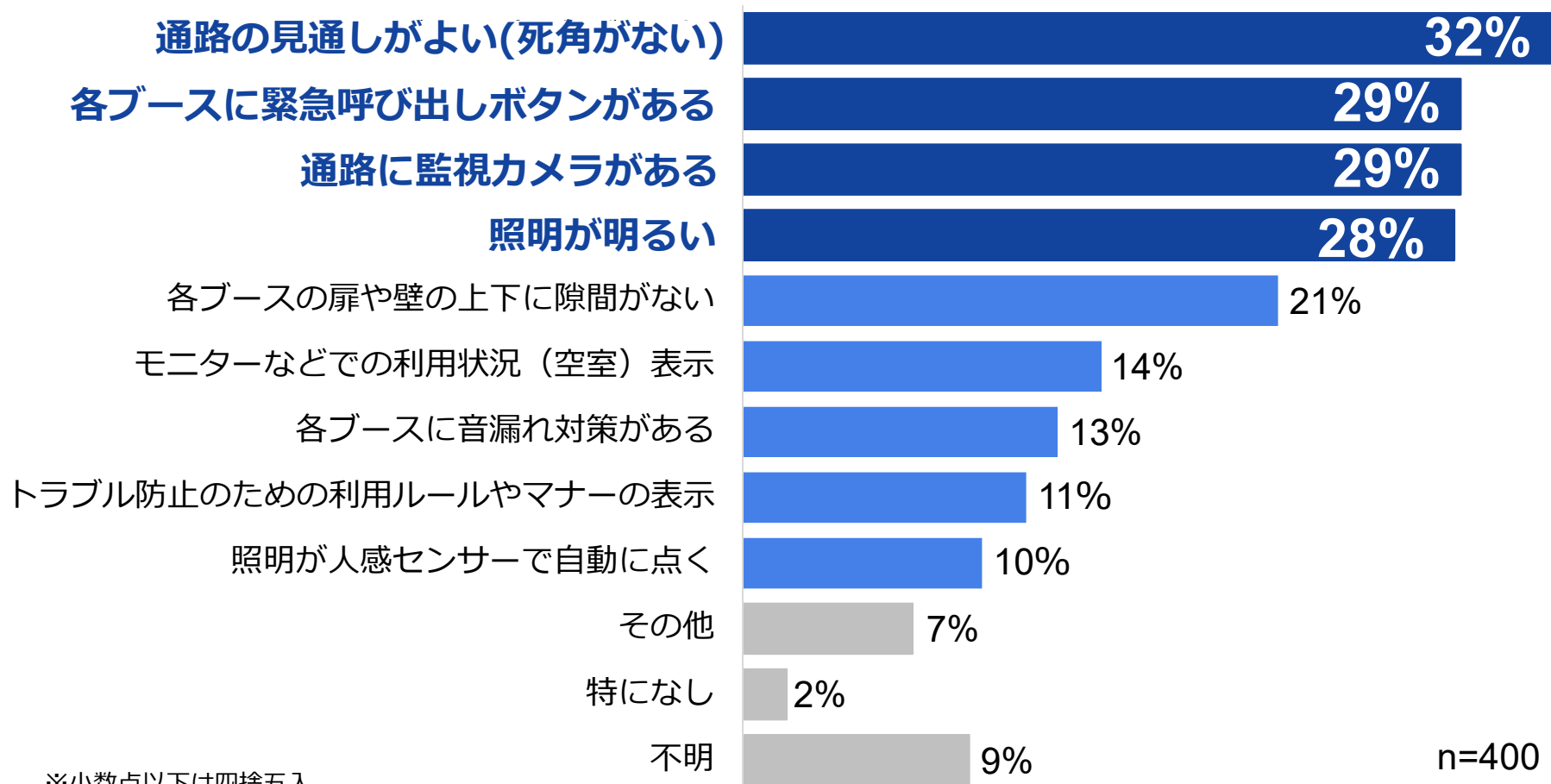
n=400

※小数点以下は四捨五入

安全安心に使えるための工夫(特に必要なもの3つ)

“見通し・明るさ・緊急対応・監視”の4つは
いずれも同程度に重要視されている

Q8-1 | Q8の回答のうち、特に必要と思うものを3つまでお選びください。



※小数点以下は四捨五入

安全安心に使えるための工夫（特に必要なもの3つ）

使いやすさ・多様性・衛生・安全性の向上が求められ 設備と運用の両面で改善ニーズが高い

Q8-1 | Q8の回答のうち、特に必要と思うものを3つまでお選びください。
その他_フリーコメント

「増えるとよいと思う」「改良・改善されればよいと思う」を選択した方のコメント

項目	要点（端的なまとめ）	実際のコメント（抜粋）
使いやすさ	入室状況の可視化や自動ドアなど、操作性の向上が求められている	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレのマップが明確で入室状況がわかると便利 ・自動ドアやタッチセンサーがあると使いやすい ・音楽があるといい ・紐式呼び出しボタンの導入
多様性への配慮	高齢者・身体が不自由な方・多様な性の人が使いやすい環境が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・視認性の高いサインが必要 ・補助便座やカーテンの設置が求められる ・オールジェンダーのトイレが複数あると良い
合理性・効率性	清掃・安全アナウンスなど、運用面の効率化が求められている	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃がしっかりされていることが重要 ・音声アナウンスで不審者連絡を促す仕組みが必要
清潔さ	除菌・消毒機能やマナー徹底など、衛生面の強化が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・除菌スプレーや便座消毒機能が必要 ・清掃状態の維持が重要 ・マナーやルールの徹底が必要
安全性	盗撮防止・見回り・スタッフ常駐など強い安全対策が求められる	<ul style="list-style-type: none"> ・盗撮防止が必要 ・見回り管理やスタッフ常駐が求められる ・入口を男女でしっかり分けるべき

安全安心に使えるための工夫（特に必要なもの3つ）

**共用トイレには、配置・マナー・防犯・子どもの安全など
慎重な設計と運用が求められている**

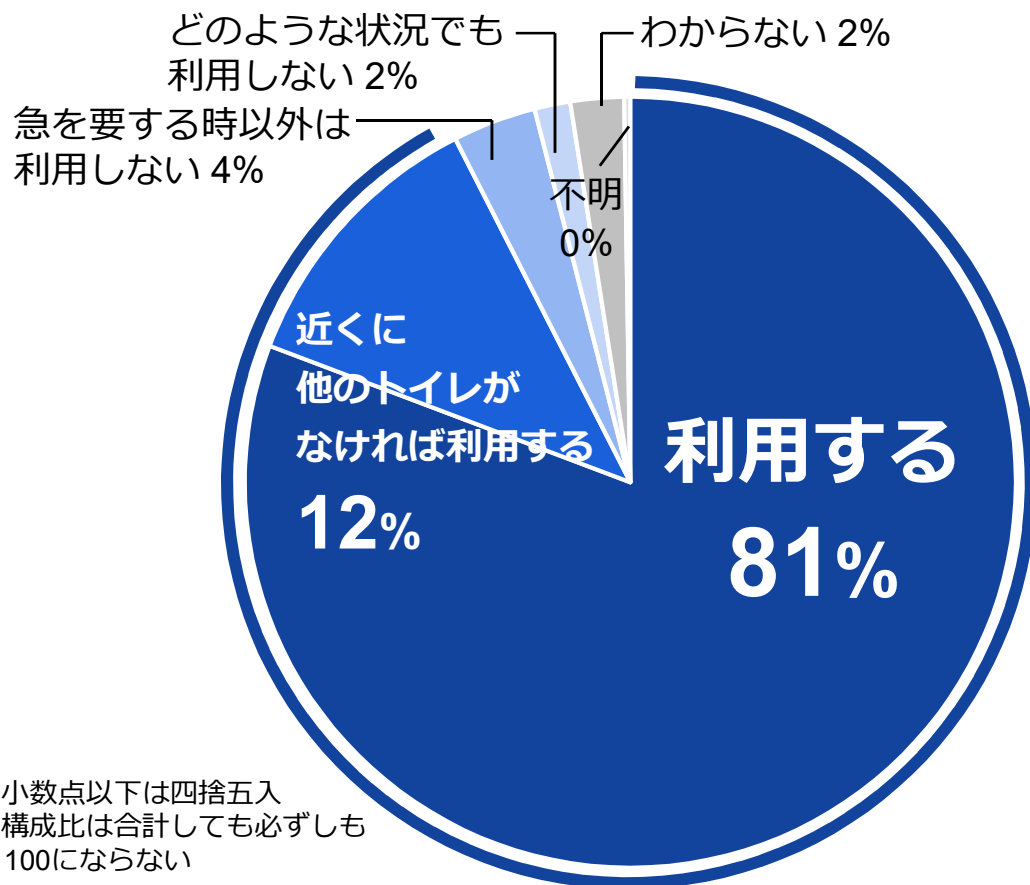
Q8-1 | **Q8の回答のうち、特に必要と思うものを3つまでお選びください。**
その他_フリーコメント

「どちらともいえない」「あまり増えて欲しいと思わない」を選択した方のコメント

項目	要点（端的なまとめ）	実際のコメント（抜粋）
個人の意見の違い	共用トイレ自体は否定しないが、配置や距離など細かな設計に不安がある	<ul style="list-style-type: none">・男女トイレとは別に共用が複数あるのはいい・個別トイレの距離をもう少し離してもいい（間違えそう）
マナーと防犯	利用マナーの徹底や、防犯を意識した仕組みが必要	<ul style="list-style-type: none">・座って用を足すなどルールの徹底が必要・照明が自動でつくのはいや
防犯面の懸念	共用は特に女性・子どもの安全が心配で、盗撮対策が必須	<ul style="list-style-type: none">・女性や子供の安全が懸念される・カメラが仕掛けられないようにする必要がある
子どもの安全	子どもが誤って開けないよう、鍵の高さなど工夫が必要	<ul style="list-style-type: none">・子供が届かない高さにもう1つドア鍵を付ける

“安全安心に使えるための工夫が施された共用トイレ”について
8割以上が積極的に利用すると回答

Q9 | 今後「このようなトイレ」がQ8の工夫がされて世の中に設置された場合、あなたは利用しますか。



「利用する」
「近くに他のトイレがなければ利用する」

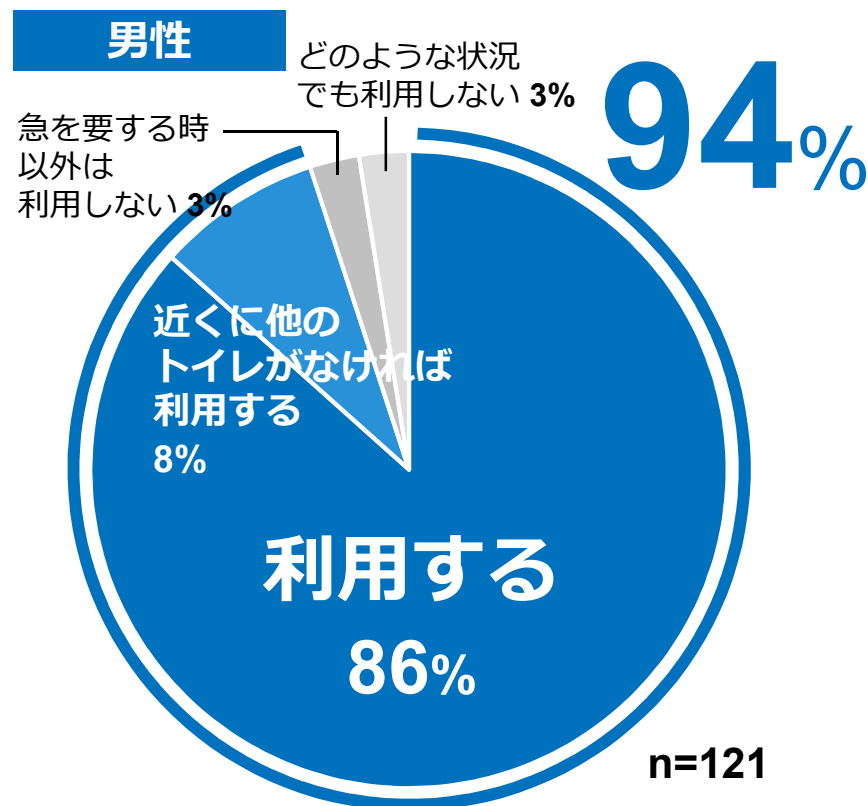
93%

※小数点以下は四捨五入
構成比は合計しても必ずしも100にならない

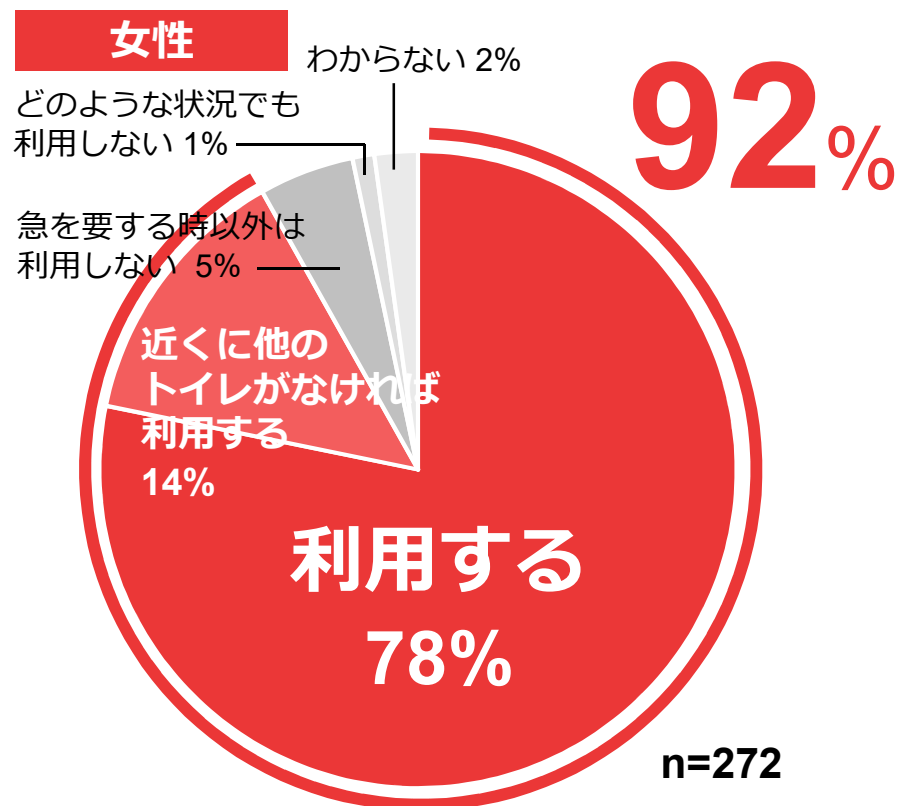
n=400

性別問わず高い利用意向が示されている

Q9 | 今後「このようなトイレ」がQ8の工夫がされて世の中に設置された場合、あなたは利用しますか。



※小数点以下は四捨五入

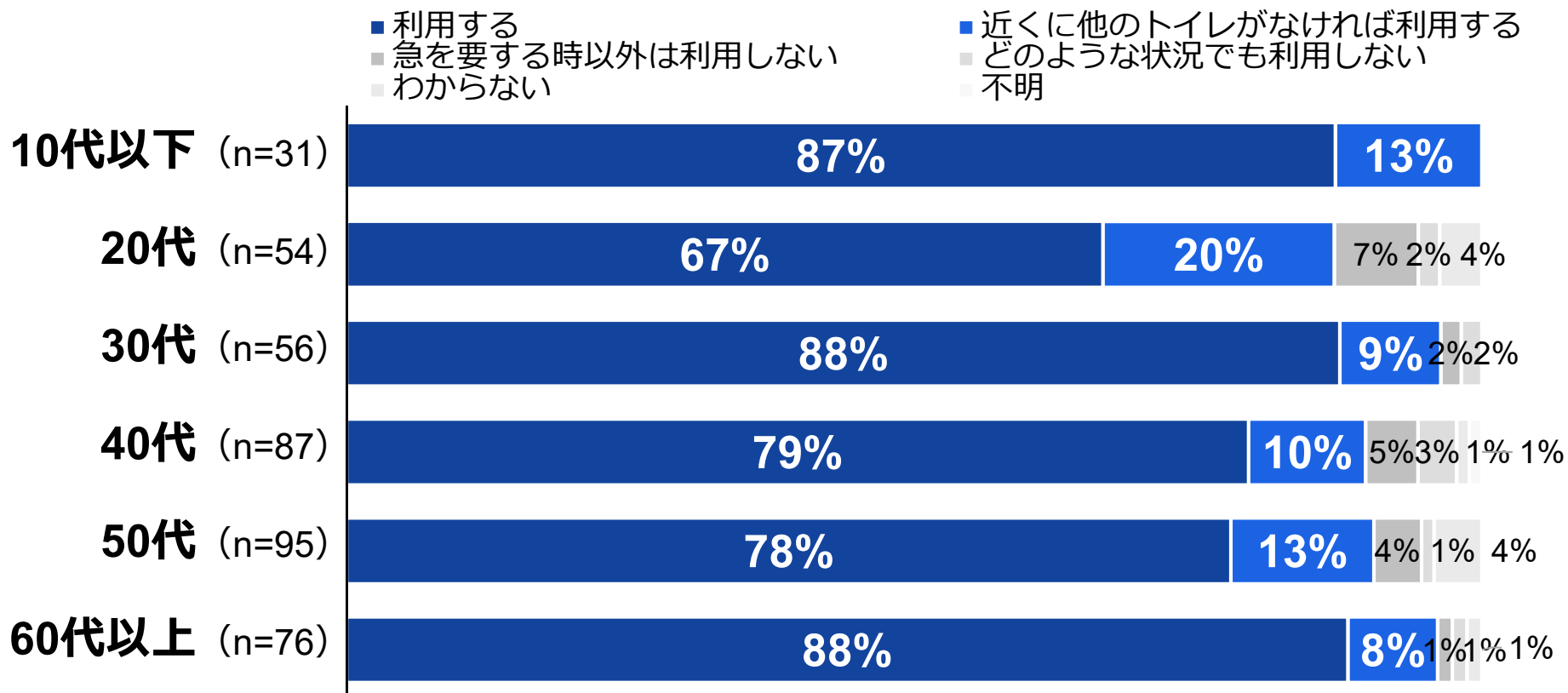


※小数点以下は四捨五入

今後利用意向（年代別）

どの年代でも高い利用意向が示されている

Q9 | 今後「このようなトイレ」がQ8の工夫がされて世の中に設置された場合、あなたは利用しますか。

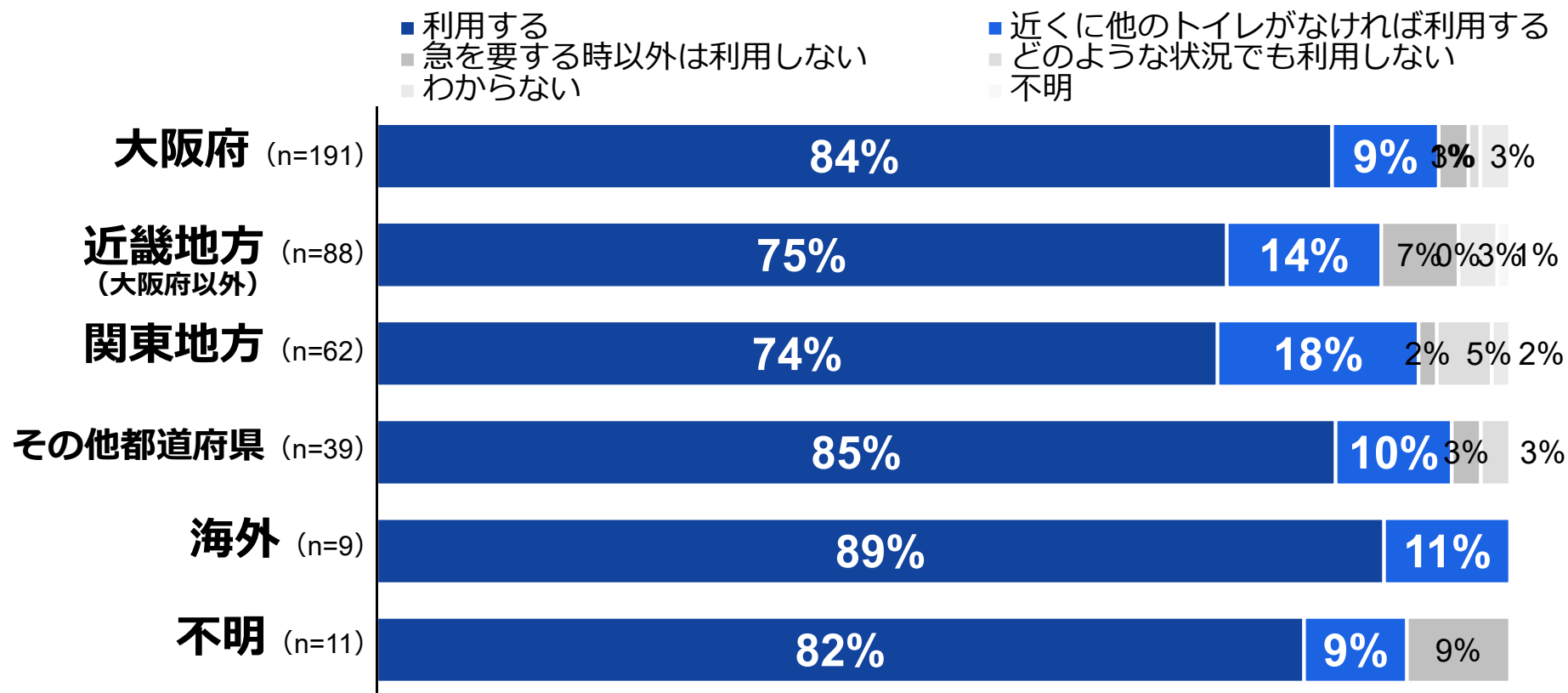


※小数点以下は四捨五入 構成比は合計しても必ずしも100にならない

今後利用意向（居住地別）

すべての地域において
「利用する」と回答した割合が7割を超えた

Q9 | 今後「このようなトイレ」がQ8の工夫がされて世の中に設置された場合、あなたは利用しますか。

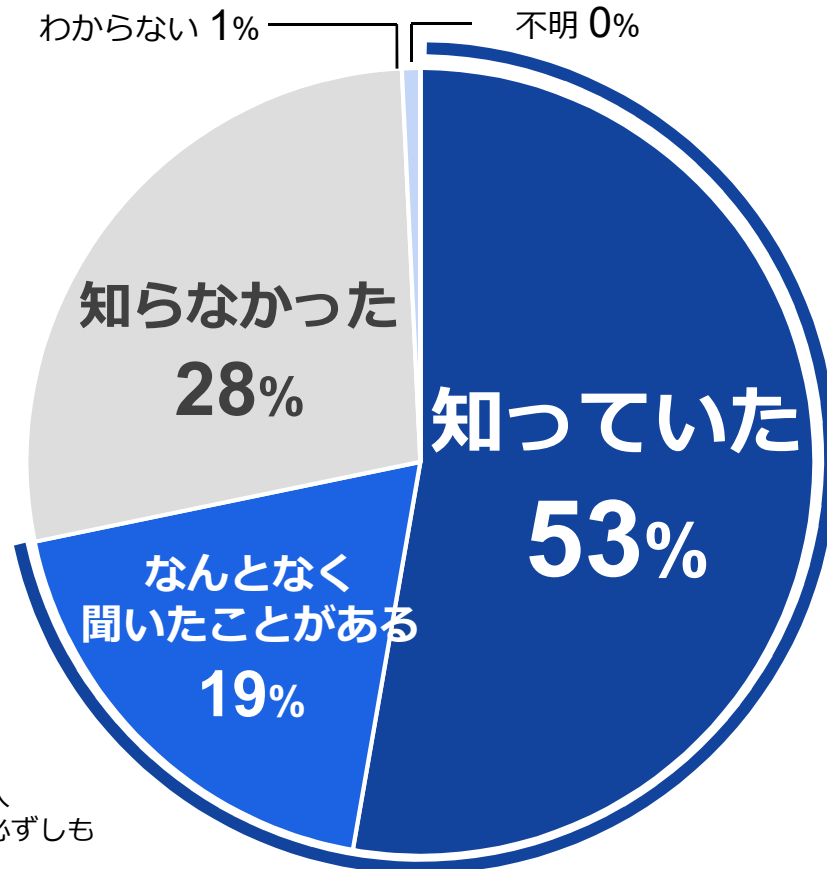


※小数点以下は四捨五入 構成比は合計しても必ずしも100にならない

「オールジェンダートイレ」という言葉の認知

“オールジェンダートイレ”という言葉は約7割が認知
一定の浸透が見られる

Q10 | 今日「みんなトイレ」の説明を受ける前から、
「オールジェンダートイレ」という言葉をご存じでしたか。
(男女共用トイレ)



「知っていた」
「なんとなく
聞いたことがある」

72%

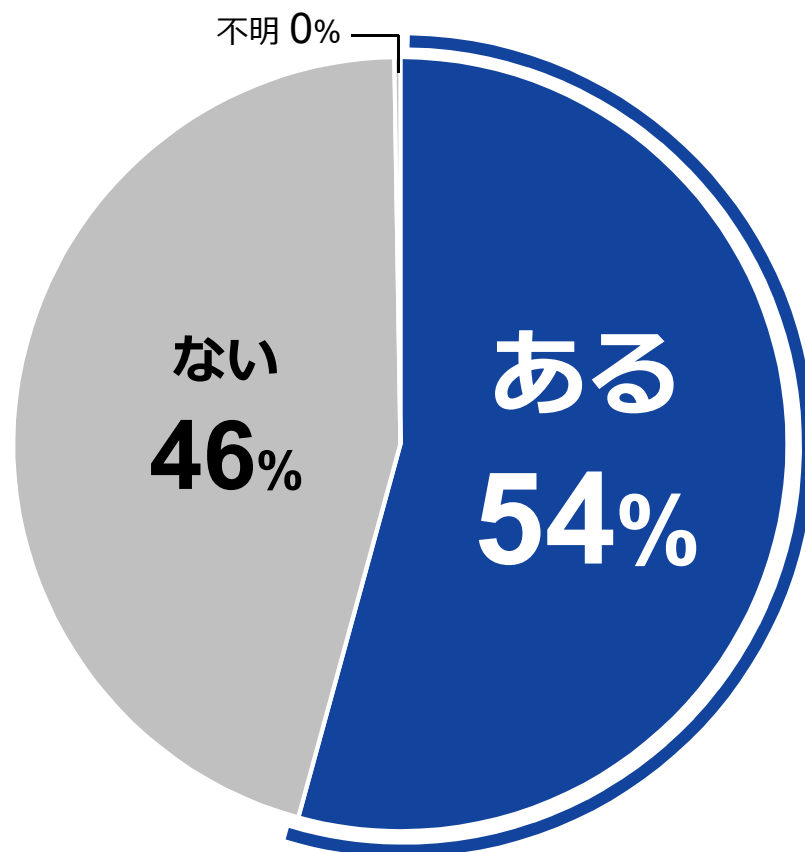
※小数点以下は四捨五入
構成比は合計しても必ずしも
100にならない

n=400

トイレで困ったことの有無

半数以上が“トイレで困った経験がある”と回答
困りごとは身近な課題

Q11 | コンセプトボードにトイレの困りごとを記載していますが、あなたは、お出かけした時に、駅やデパートなどのトイレで困ったことはありますか。または身近な人に困っている人がいますか。



「困ったことがある」
「身近な人に困っている人がいる」

54%

n=400

※小数点以下は四捨五入

(資料提供/TOTO)

トイレの困りごとについて

利用しづらさ・家族対応・バリアフリー・衛生・混雑の5つが トイレ利用で大きな困難として挙がっている

Q11-1 | その困りごとについて具体的にお聞かせください。

項目	要点（端的なまとめ）	実際のコメント（抜粋）
利用しづらさ・設備不足	男性個室の不足、駅トイレの分かりにくさ、多目的トイレの利用しづらさ	<ul style="list-style-type: none">・男性トイレの個室が少ない・駅のトイレがわかりにくい・多目的トイレを利用したいが遠慮してしまう・男女共用トイレを見つけるのに苦労する
家族連れ・子ども対応の困難	子ども連れでの利用が難しい、鍵の誤開閉、異性の子どもと入りづらい	<ul style="list-style-type: none">・ベビーチェアに座らせると鍵を開けてしまう・混雑した女性トイレで子供と一緒にいるのが困難・異性の子どもと入りづらい・授乳室にパパが入れない、ベビーカーで入れない
バリアフリー不足	車いす利用者が使えるトイレが少ない	<ul style="list-style-type: none">・車いす使用者が使えるトイレが少ない
衛生面の不満	汚れ・臭い・清掃不足・補充不足が多い	<ul style="list-style-type: none">・男性トイレは汚く清潔感がない・汚いトイレや臭いが気になる・清掃が行き届いていない・トイレットペーパーが補充されていない
混雑によるストレス	女性トイレの待ち時間、通路の狭さが負担	<ul style="list-style-type: none">・女性トイレが混雑して待たされる・トイレの入り口・通路が狭い

トイレの困りごとについて

**混雑緩和・快適性向上・家族や介助者への配慮など
多方面で利用環境を改善できる可能性がある**

**Q11-2 | 「みんなトイレ」で、その困りごとは解決できましたか。
または、できると思いますか？**

「みんなトイレ」で解決できたこと

項目	要点（端的なまとめ）	実際のコメント（抜粋）
トイレ利用環境の改善	共用トイレの増加で混雑緩和・男性個室不足の解消・快適性向上が期待される	<ul style="list-style-type: none">・男女共用トイレが増えることで混雑が解消される・清潔で快適に使えるトイレがあると分かった・みんなトイレの考え方が広がり、男性トイレの個室不足が解消される・おむつ替えが男性でもできる
子連れ・介助者への配慮	親子・介助者が性別に関係なく利用しやすくなる	<ul style="list-style-type: none">・父母どちらでも子供を連れて入れる・広いブースや間仕切りカーテンが役立つ・ジェンダーレスの意識が広まり、異性介助の必要性が理解される・ナプキンが使えるのはありがたい

トイレの困りごとについて

個室数・混雑・設備の多様性など 利用者の幅広いニーズに応えきれていない点が課題

Q11-2 | 「みんなトイレ」で、その困りごとは解決できましたか。 または、できると思いますか？

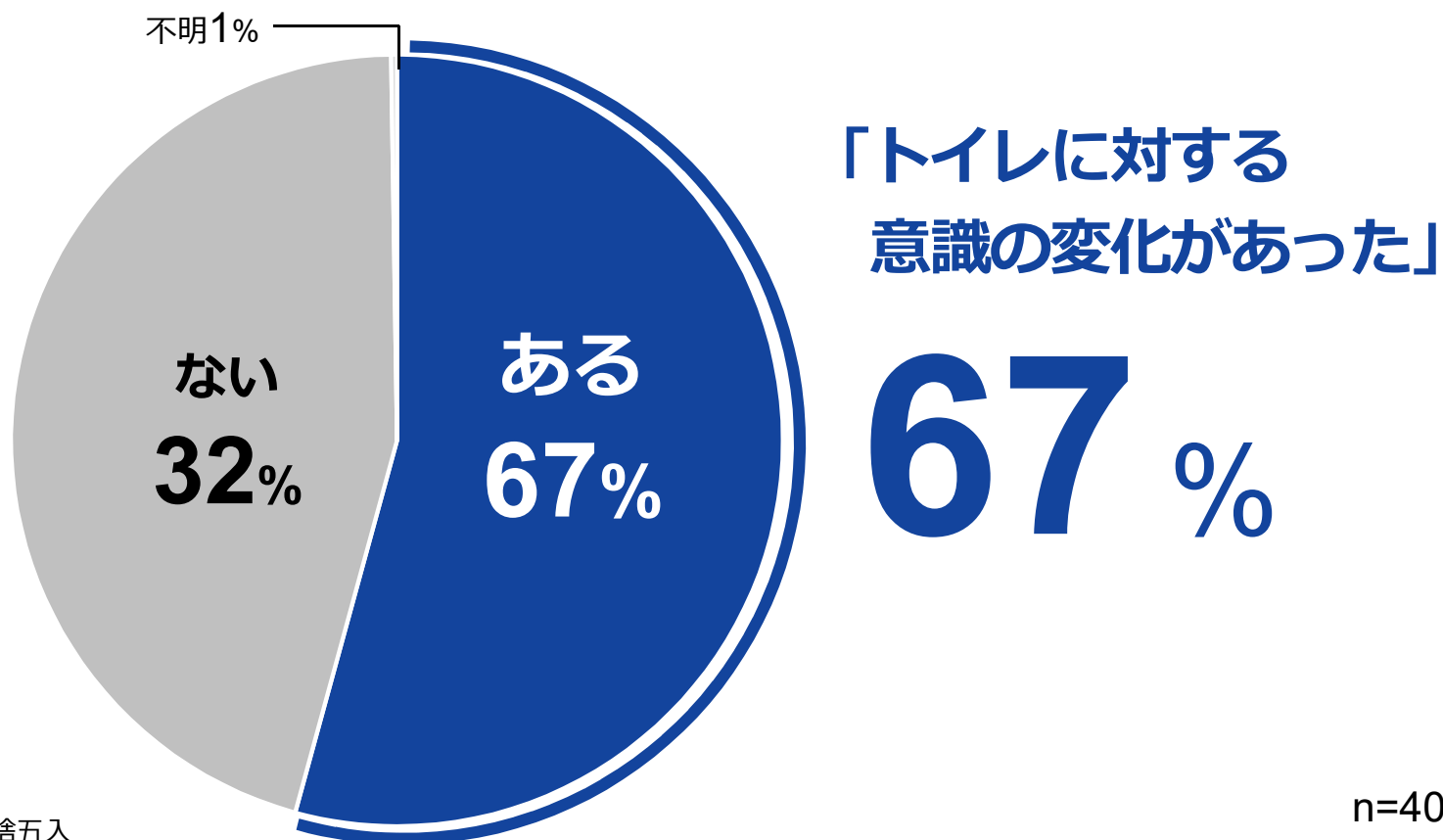
「みんなトイレ」で解決できなかったこと

項目	要点（端的なまとめ）	実際のコメント（抜粋）
トイレ数・個室不足	個室数の不足や和式ニーズ、女性トイレの混雑が課題	<ul style="list-style-type: none">・和式が使用したい・女性トイレの混雑が解消されないことがある
多方面への配慮	車いす利用者・身だしなみなど、多様なニーズに対応できていない	<ul style="list-style-type: none">・小さい個室も車いす使用者が使える扉にしてもいい・身だしなみ配慮があってもいい

トイレに対する意識の変化有無

“みんなトイレ”を利用した人の3人に2人が
トイレへの意識に変化があったと回答

Q12 | 「みんなトイレ」を使用して、
トイレに対する意識に変化はありましたか。



※小数点以下は四捨五入

トイレに対する意識の変化（フリーコメント）

「みんなトイレ」は、3つの意識変化をもたらした

Q12 | 意識の変化があった場合は、どのような変化ですか。

新しい価値観

男女が違和感なく使えることや、多様性への配慮の重要性に気づき、**これまでにない新しい価値観を理解**した。

使いやすさの実感

空き状況モニターや設備の工夫により安心して快適に利用でき、**「みんなトイレ」のような形態に前向きな印象**を持つようになった。

社会的必要性の認識

障がいの有無や性別に関わらず、誰もが平等に使えるトイレの必要性を再認識し、**社会に広がることへの期待が高まった**。

トイレに対する意識の変化（フリーコメント）

みんなトイレの利用を通じて、多様性への理解が一步進んだ

Q12 | 「みんなトイレ」を使用して、トイレに対する意識に変化はありましたか。
変化があった場合は、どのような変化ですか。

新しい価値観

- ・ **男女が違和感なく使える**ことを理解
- ・ オールジェンダートイレの**必要性を実感**
- ・ **多様性や他者への配慮の重要性**を再認識
- ・ “**自分には不要でも他者には重要**”という視点の獲得

みんなトイレは、安心して使える“快適さ”を実感させた

Q12 | 「みんなトイレ」を使用して、トイレに対する意識に変化はありましたか。変化があった場合は、どのような変化ですか。

使いやすさの実感

- ・ **きれいに使おう** という意識が芽生えた
- ・ **空き状況モニターで安心**して利用できた
- ・ すき間のない仕切りで**プライバシーが守られている**と感じた
- ・ **広いスペースや新しい設備の便利さ**を実感
- ・ **女性トイレの混雑緩和**につながると気づいた

トイレに対する意識の変化（フリーコメント）

**みんなトイレは、誰もが使える社会の実現に必要なだと
感じるきっかけになった**

Q12 | 「みんなトイレ」を使用して、トイレに対する意識に変化はありましたか。
変化があった場合は、どのような変化ですか。

社会的必要性の認識

- ・ 障がいの有無に関わらず**平等に使えるトイレの必要性**を再確認
- ・ 介助が必要な人にとっての**利便性を理解**
- ・ 駅や商業施設に**多様なトイレが広がることを期待**
- ・ **多様なニーズに応えるトイレ**としての価値を認識

利用実態調査から、「みんなトイレ」は **多様性への理解を深め、利便性や安心感を高める取り組み**として利用者から高い **評価**を得ていることが分かりました。

今後は、こうした利用者の声を踏まえながら、 **より多くの場所での展開や、さらなる改善に向けた取り組み**が期待されます。



参考

2025年大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン みんなトイレ アンケート調査（外国人編）

調査回答者400名の中から
海外在住者の結果を
ピックアップしてご紹介します。



概要 | 大阪ヘルスケアパビリオン「みんなトイレ」 アンケート調査

調査主催	TOTO（大阪ヘルスケアパビリオン「UD推進チーム」※ 作り手企業）
調査対象者	2025大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン「みんなトイレ」利用者
調査方法	調査員がトイレ前に待機し、トイレを利用して出てこられた利用者インタビュー形式で調査
調査期間	2025年8月24日(日) 計1日間
回収数	9件



調査イメージ

※大阪ヘルスケアパビリオン「UD推進チーム」

車いす使用者やさまざまな障がいのある方、性的マイノリティ、子育て世帯など、従来のトイレに不便を感じていた「お困りごと当事者」が中心となり、学識経験者やTOTOなどの作り手企業も参加して結成したチーム。

回答者属性

アジア・北米・ヨーロッパにお住まいの9名様から 寄せられたご意見をご紹介します

地域	国	年代	性別
アジア	中国	30代	女性
	シンガポール	20代	女性
	シンガポール	20代	女性
	シンガポール	20代	女性
	シンガポール	20代	女性
	香港	50代	女性
北米	アメリカ	70代	男性
ヨーロッパ	ドイツ	30代	男性
	ノルウェー	20代	女性

Q | このトイレは戸惑いや抵抗感なく、
自然に使えましたか。

Q | どのトイレブースを使用しましたか。
またその選択理由は。

Q | あなたは、「このようなトイレ」が
世の中に増えるとよいと思いますか。



「サインや案内が多くて使いやすかった」
「とてもキレイで清潔だった」と評価する声

Q | このトイレは戸惑いや抵抗感なく、自然に使えましたか。

1回目でも戸惑いなく利用

地域	国	年代	性別	使用回数	回答
アジア	中国	30代	女性	2回目以上	自然に使えた
	シンガポール	20代	女性	1回目	まあ自然に使えた
	シンガポール	20代	女性	1回目	自然に使えた
	シンガポール	20代	女性	1回目	まあ自然に使えた
	シンガポール	20代	女性	1回目	まあ自然に使えた
	香港	50代	女性	1回目	自然に使えた
北米	アメリカ	70代	男性	1回目	自然に使えた
ヨーロッパ	ドイツ	30代	男性	1回目	自然に使えた
	ノルウェー	20代	女性	1回目	自然に使えた

「空き状況」「場所の近さ」など利便性で
それぞれのブースを選択

Q | どのトイレブースを使用しましたか。またその選択理由は。
女性用を選んだのは「空いていた」が理由

地域	国	年代	性別	回答	理由
アジア	中国	30代	女性	女性専用	意識せず空いているブースに入った
	シンガポール	20代	女性	男女共用	一番近いブースを選んだ
	シンガポール	20代	女性	男女共用	一番近いブースを選んだ
	シンガポール	20代	女性	男女共用	意識せず空いているブースに入った
	シンガポール	20代	女性	女性専用	意識せず空いているブースに入った
	香港	50代	女性	女性専用	並んでいて空いているブースに入った
北米	アメリカ	70代	男性	男性専用	孫が行った方へついていった
ヨーロッパ	ドイツ	30代	男性	男女共用	モニターを見て「空き」ブースに入った
	ノルウェー	20代	女性	男女共用	モニターを見て「空き」ブースに入った

世の中に増えるとよいと思うか

「増えるとよい」「改善されればよい」と 9名全員が肯定的な意向を示した

Q | あなたは、「このようなトイレ」が
世の中に増えるとよいと思いますか。

サイン計画を含め、分かりやすさが求められる

地域	国	年代	性別	回答	理由
アジア	中国	30代	女性	増えるとよい	中国のトイレはとても汚い
	シンガポール	20代	女性	増えるとよい	障がいのある方を介護するには利用しやすい
	シンガポール	20代	女性	増えるとよい	とても効率が良いと思う
	シンガポール	20代	女性	改善されればよい	どのトイレに入ったらいいか混乱したので
	シンガポール	20代	女性	増えるとよい	使いやすいトイレであったので
	香港	50代	女性	増えるとよい	—
北米	アメリカ	70代	男性	増えるとよい	使ってとても良い印象だったから
ヨーロッパ	ドイツ	30代	男性	増えるとよい	とても清潔で広くて良いと思う
	ノルウェー	20代	女性	増えるとよい	キレイでインフォメーションも充実して良い

文化や背景の異なる方々からも
『みんなトイレ』の意義や可能性に対して肯定的な声が寄せられた

ふつうは男女が分かれているのに、
共用トイレがメインであるこのトイレは
とてもめずらしくて勉強になりました。
(中国／30代／女性)

ハンディキャップのある方は
ただ広い空間のトイレを使用するより
「みんなトイレ」を使用した方が便利だと思いました。
(シンガポール／20代／女性)

インクルーシビティ！
(シンガポール／20代／女性)

